

活動のあしあと

2025年度経過報告書

Ⅲ. 労働組合としての社会的役割の発揮

【2025年度活動報告】

目次

Ⅲ. 労働組合としての社会的役割の発揮

1. 平和の取り組み	3
(1) 情報労連平和四行動	3
(2) 集会・シンポジウム・セミナー・学習会への参加	4
2. 被災地支援の取り組み	53
(1) 能登半島地震への対応	53
(2) ボランティア支援金制度の取り組み	53
(3) 自然災害に対する支援の取り組み	53
3. 防災・減災の取り組み	54
(1) 防災・減災セミナー	54
(2) 防災・減災学習ツアー	54
4. 政策・制度実現に向けた取り組み	114
(1) 政治啓発の取り組み	114
(2) 政治に触れ合う機会の提供	114
(3) 政策制度実現に向けた取り組み	115
5. 社会貢献活動	142
(1) フィリピン・パヤタスの貧困地区への支援	142
(2) ネイチャーポジティブの取り組み	143
(3) プルタブ回収運動	143
(4) 書き損じハガキ回収等の取り組み	143
(5) 情報労連・愛の基金	143
6. 産別運動・国際連帯活動	154
(1) 連合・情報労連	154
(2) 国際連帯活動	155

Ⅲ. 労働組合としての社会的役割の発揮

1. 平和の取り組み

(1) 情報労連平和四行動

1) 情報労連「広島ピースフォーラム2025」

日時：2025年8月4日（月）～6日（水）

参加者：5名（支援スタッフ1名、一般参加者4名）

内容：①被爆体験証言・特別講演

②慰霊式（基町・袋町・比治山）

③平和記念公園ピースウォーク・広島平和記念資料館見学

④被爆建物ウォーク

⑤連合2025平和ヒロシマ集会

⑥連合・原爆死没者慰霊式

⑦原爆詩・被爆体験記朗読

2) 情報労連「第36回長崎平和フォーラム」

日時：2025年8月7日（木）～9日（土）

参加者：6名（支援スタッフ2名、一般参加者4名）

内容：①講爆体験講演

②原爆資料館等見学

③被爆遺構巡り

④万灯記入・折り鶴作成

⑤戦争体験記（朗読）

⑥連合2025平和ナガサキ集会

⑦電通労働者原爆被爆死没者慰霊式

3) 情報労連「2025北方領土返還要求平和行動 I N根室」

日時：2025年9月7日（日）～8日（月）

参加者：2名

内容：①学習会第1部【北方領土編】

・『北方領土問題とは』

情報労連北海道協議会事務局次長 中川 裕美子

・講演『私のふるさと薬取（シベトロ）』

講師：千島齒舞諸島居住者連盟 安田愛子氏

②学習会第2部【樺太編】

・講演『北方領土返還についての情勢報告』

講師：石橋みちひろ参議院議員

③ピースリレー

④連合2025平和ノサップ集会

5) 平和四行動参加者向けの事前学習会の開催

2025年の各行動参加に先立ち、支援スタッフを講師とした事前学習会を開催した。

①情報労連「広島ピースフォーラム2025」

日 時：2025年7月16日（水）

対象者：情報労連「広島ピースフォーラム2025」参加者

内 容：平和行動の背景、情報労連平和四行動の概要、当日の行動予定——等

②情報労連「第36回長崎平和フォーラム」

日 時：2025年7月23日（水）

対象者：情報労連「第36回長崎平和フォーラム」参加者

内 容：平和行動の背景、情報労連平和四行動の概要、当日の行動予定——等

(2) 情報宣伝媒体を活用した平和啓発

平和行動や集会等への参加報告をホームページの活動報告に掲載するとともに、WEB機関誌にて平和啓発記事の掲載を行った。

1) 活動報告 ※ () は発信日

①情報労連「2025沖縄ピースすて〜じ」参加者レポート（2025年8月4日）

URL <https://www.kddiwu.jp/kwp/activity/45950/>

2) 機関誌

①戦後80年を迎え～令和の時代だからこそできる戦争との向き合い方～ （2025年8月4日号）

URL <https://www.kddiwu.jp/kwp/magazinecat/45744/>

②核兵器のない世界をめざして（2025年12月1日号）

URL <https://www.kddiwu.jp/kwp/magazinecat/47175/>

③平和について考えよう～千羽鶴を折る理由は～（2026年4月27日号）

URL <https://tunag.jp/m/feeds/24732061>

平和の取り組み 関連資料



広島ピースフォーラム2025 参加者向け事前学習会

2025年7月16日

KDDI労働組合 現地スタッフ & 世話役紹介



東日本支部
執行委員 河原 裕樹
現地スタッフ



中央本部
中央執行委員 窪田 廉
世話役

参加者自己紹介

氏名	フリガナ	所属部署名(勤務地)	所属支部
安藤 将	アンドウ マサル	KDDI パーソナル事業本部グローバルコンシューマ本部事業統括1部経営管理G	本社中央支部
藤田 翔子	フジタ ショウコ	KSF 東日本営業本部 関東第2営業部 営業3G	東日本支部
宇都宮 雄一	ウツノミヤ ユウイチ	KDDIインジ 建設事業本部建設統括本部建設事業管理部建設DX推進G	KDDIエンジニアリング支部

本日のアジェンダ

- ① 平和行動の背景 (10分)
- ② ビデオ視聴(情報労連「平和四行動」の歩み) (35分)
- ③ 学習スポットの紹介 (10分)
- ④ 行動スケジュール & 事務連絡 (5分)

情報労連とは

- ✓ 連合(日本最大のナショナルセンター)に加盟する産業別労働組合
- ✓ 情報通信産業を中心に構成
- ✓ 主な加盟組合: KDDI労組、NTT労組、通建連合、SBWU ほか
- ✓ ICTの発展と働く人の権利を守るため活動
- ✓ 平和運動・政策提言・労働条件改善にも注力



なぜ、情報労連が平和運動に取り組むのか？

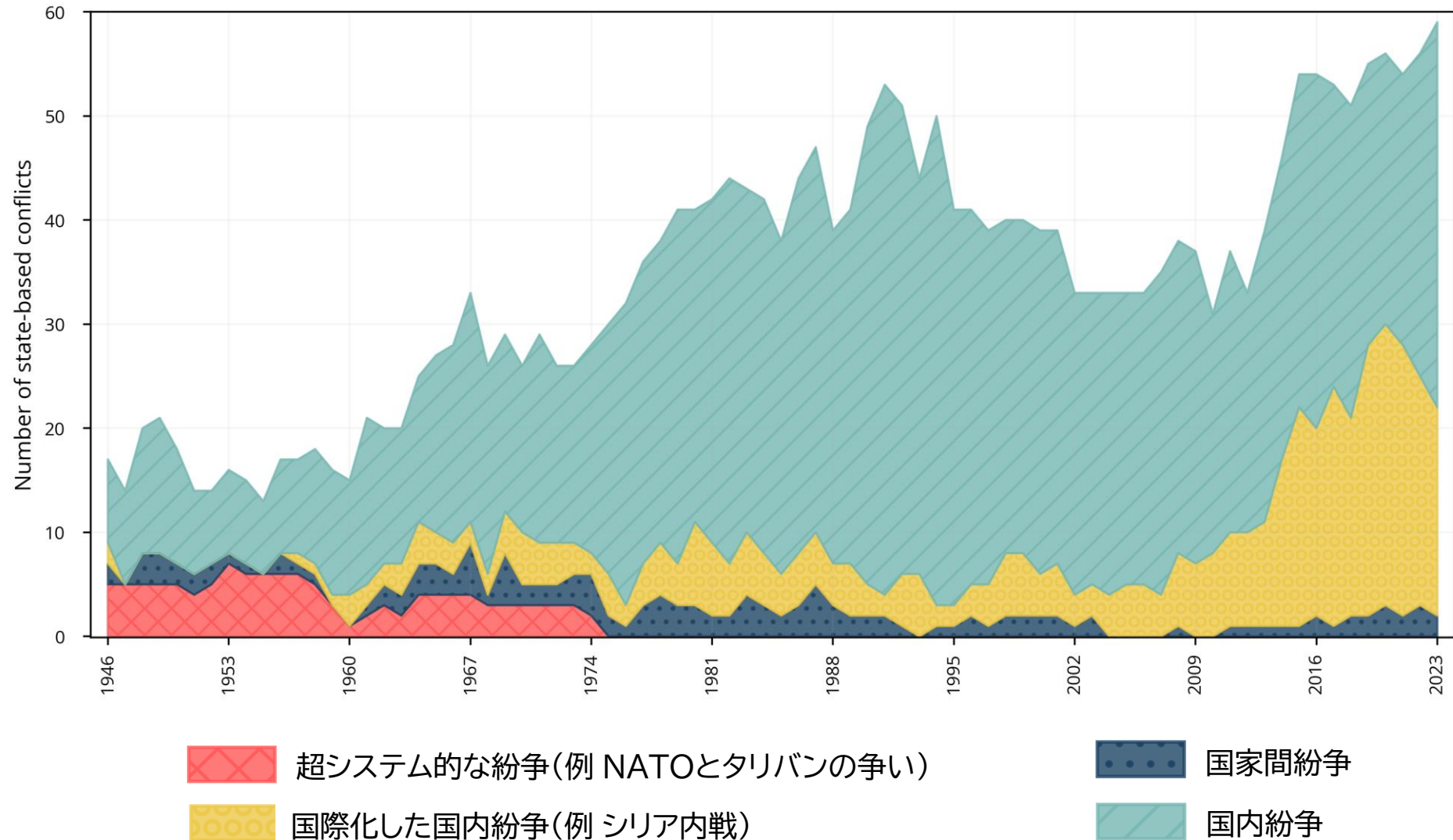
なぜ、情報労連が平和運動に取り組んでいるのか？

- ✓ 通信と戦争は無縁ではない
- ✓ 働くこと＝生きることを守るために
- ✓ 平和でなければ働けない
- ✓ 見て、感じて、伝えることが大切

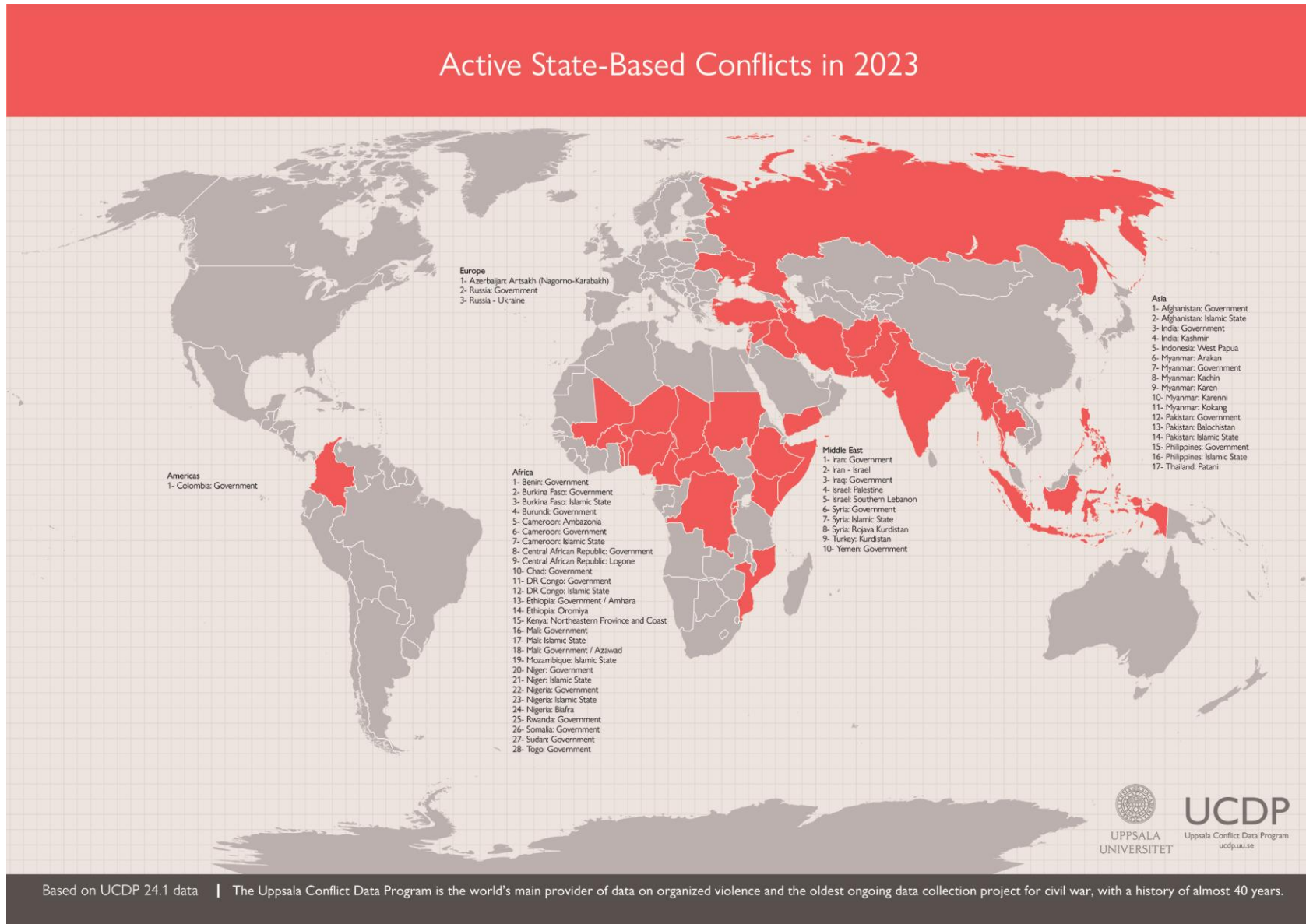
世界では今も紛争が起きている

紛争は減っていない、むしろ増えている

State-based conflicts by type of conflict (1946-2023)

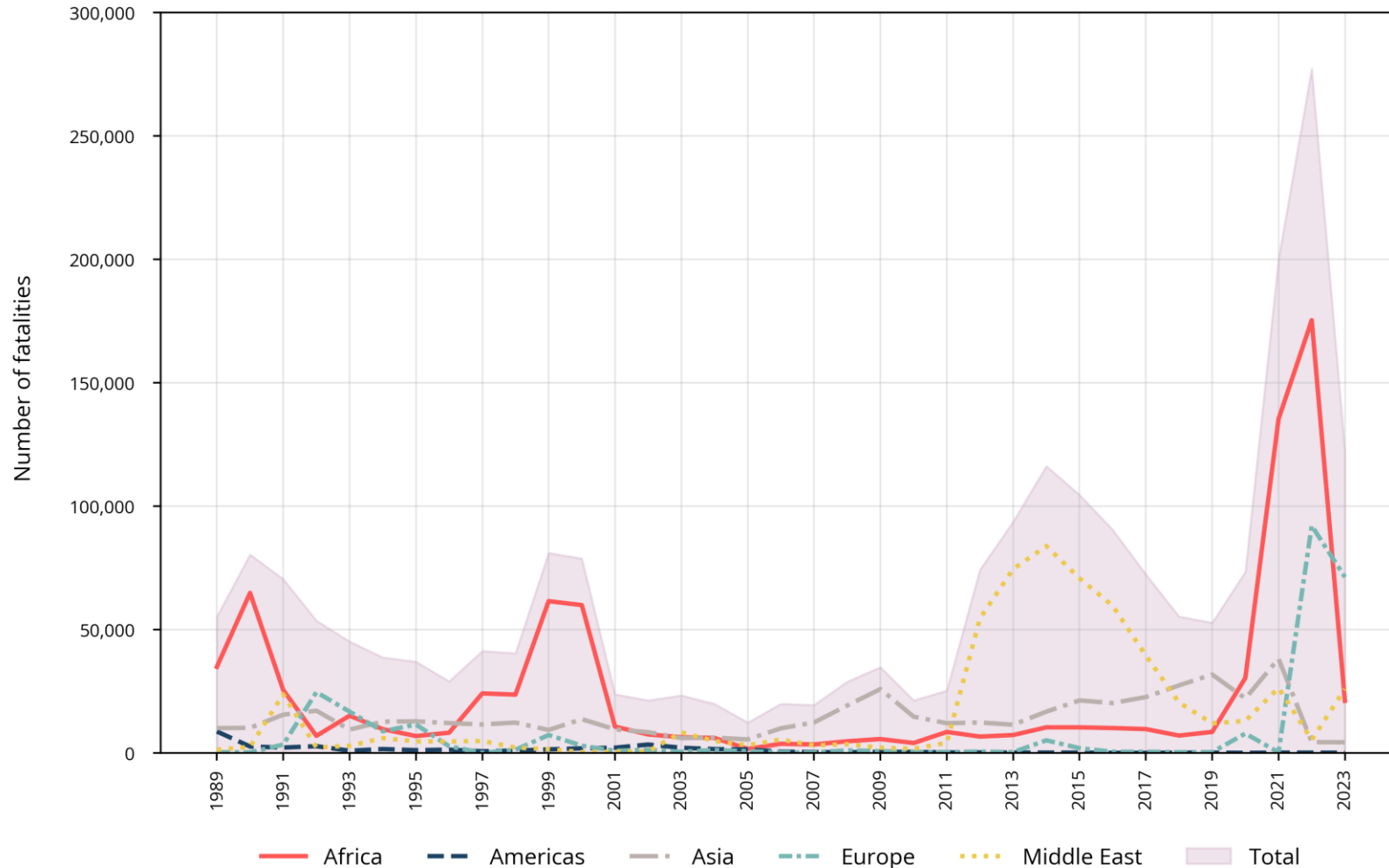


今も、紛争が続く地域(2023年最新)



紛争による死者数の推移(1989~2023年)

Fatalities in state-based conflicts by region (1989-2023)



Based on UCDP 24.1 data

ウクライナ侵攻



- ✓ 2022年開始のロシアによる侵攻が継続中
- ✓ 民間人および軍人を含め、約21万人以上が犠牲に(民間人:10万人超、軍人:10万人超)※
- ✓ 都市部のインフラ破壊や情報戦の激化も背景

注:数字は2025年初時点。正確な最新値ではなく、公的機関の推計を基にしています。

ガザ・パレスチナ紛争



- ✓ 2023年以降の戦闘激化
- ✓ ガザの保健省によると、約48,000人が死亡。
- ✓ 英医学誌『ランセット』による推計では70,000人超の死者とも言われ、少なくとも59%が女性・子ども・高齢者

スーダン内戦



- ✓ 2023年以降、軍と民兵による内戦が続行中
- ✓ 正確な統計は存在しないが、推定で数万人規模の死者&数百万人の難民・避難民が発生

ミャンマー内戦



- ✓ 2021年クーデターで軍事政権が復活
- ✓ 民主化運動が弾圧される
- ✓ 若者たちの抗議と亡命、生活の崩壊

私たちにできることは何か？

- ✓ 紛争の現実には、遠い世界の話ではない。
- ✓ 同じ時代を生きる若者たちが、命をかけて声をあげている。
- ✓ 私たちは、それを「知らないまま」でいいのか？
- ✓ 平和は、誰かが守るものではなく、私たち一人ひとりが関わるもの。

ビデオ視聴

(情報労連「平和四行動」の歩み)

学習スポットの紹介

戦跡学習先



1. 原爆ドームとは



- ✓ 元「広島県産業奨励館」
- ✓ 現存する原爆被害の象徴的建物
- ✓ ユネスコ世界遺産に1996年登録された
- ✓ 補修工事を重ねて当時の姿のまま保存

2. 広島原爆資料館とは



- ✓ 原爆の被害実態を伝える博物館
- ✓ 1945年の広島原爆投下を中心に展示
- ✓ 被爆者の遺品や写真などを展示
- ✓ 平和の尊さを訴える学習施設
- ✓ 国内外から多くの来館者が訪れる

3. 島病院とは



- ✓ 原爆爆心地付近の位置
- ✓ 原爆投下時に大きな被害を受けたが医師は不在のため被爆の被害を受けなかった
- ✓ 現在も病院として存続

4. 袋町小学校とは



- ✓ 原爆で校舎が大きく被災
- ✓ 被爆直後は救護所として使用
- ✓ 現在は平和資料館を併設している
- ✓ 壁に残された伝言や爆風でゆがんだ地価の鉄製ドア等被爆校舎の一部が保存されている

5. 旧日本銀行とは



- ✓ 現存する建物
- ✓ 爆心地から近いが倒壊を免れた
- ✓ 被爆2日後から支払業務を開始

6. 御幸橋(みゆきばし)とは



- ✓ 1885年天皇行幸の際に建て替えられたことにちなみ命名
- ✓ 戦後に修復され、現在も市民に利用されている
- ✓ この橋より爆心地側の被害が特に甚大
- ✓ 橋のたもとには被爆の歴史を伝える説明板がある
- ✓ 戦地に出発する橋として有名

7. 広島大本営跡



- ✓ 広島城内に設置され、戦前の重要拠点
- ✓ 日清戦争時に設置された司令部跡で明治天皇が広島に滞在し指揮を執った場所
- ✓ 周辺には軍事拠点が整備され、日本の近代戦争史を伝える重要な史跡
- ✓ 城内に設置された中国軍管区司令部は原子爆弾の炸裂によって壊滅
- ✓ 半地下の防空壕から被害の第一報

8. 広島陸軍被服支廠(ひろしまりくぐんひふくししょう)とは



- ✓ 軍服や付属品などの生産・修理を行う製造修理工場と倉庫群
- ✓ 爆心地から約2.7km、原爆で屋根や鉄扉が破損
- ✓ 原爆投下後は多くの被爆者の救護所となった

記憶から行動へ

広島で見るもの、聞く声、感じること。

それは、あなた自身の中に残る“記憶”となります。

その記憶を、行動につなげてください。

家族に、同僚に、そして次の世代に、自分の言葉で伝えていくことが、平和を守り、広げる第一歩になります。

あなたの行動が、次の誰かの学びになることを信じて、

この3日間が、あなたにとって“自分ごとの平和”と出会う時間となることを願っています。

行動スケジュール & 事務連絡

行動スケジュール

8/4(月)

時刻	内容
12:45	広島インテリジェントホテルアネックスロビー集合 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">集合場所調整中</div> ※往復新幹線等は各自で手配、後日精算となります。
12:50	ワークピア広島へ徒歩で移動・受付
13:30	ピースフォーラム開会
14:10	被爆体験証言・特別講演
17:00	慰霊式会場へバスで移動
17:45	慰霊式(基町・袋町・比治山)
18:15	各宿泊ホテルへバス移動
19:00	KDDI労組参加者での懇親会

8/5(火)

時刻	内容
8:30	各宿泊ホテル出発
9:00	広島平和公園ピースウォーク・平和資料館見学
11:30	バスでワークピア広島へ移動、昼食休憩
13:00	被爆建物ウォーク
16:00	連合2025ヒロシマ平和集会開会(上野学園ホール) 連合・原爆死没者慰霊式
19:30	各ホテルへバス移動 ※ホテル到着後は自由行動です

8/6(水)

時刻	内容
8:00	ワークピア広島集合(各自)
8:15	黙祷(「平和記念式典」へ映像にて参加) 原爆詩・被爆体験記朗読
9:30	パネル展
10:30	まとめ集会
11:00	閉会(アンケート回収) < 解散 >

宿泊先

- 宿泊先は別途ご案内します

交通費の支給範囲

- 交通費は、自宅最寄り駅を起点として、以下の範囲を支給します。

- ① 最寄り駅～広島駅往復運賃

上記の交通費は、行動終了後に振込にて支給いたします。

持ち物

- 筆記用具
- 学習会資料(事前送付)
- 帽子
- 日焼け止め
- 虫除け
- 常用薬
- タオル(汗拭き用)
- 全国各地の名水等(ペットボトル500ml程度)
- 貴重品をしまう小さめのバッグ・ショルダー

※慰霊碑に献水を行うため

※貴重品以外の荷物をバスに置いて出ることがあるため

服装の注意点

<服装について>

平服で構いませんが、派手すぎる服装や過度な肌の露出はお控えください。平和行動のため、迷彩柄の衣類や持ち物の使用は禁止です。

<履き物について>

動きやすい運動靴を着用してください。安全確保のため、サンダル・ヒール・クロックスの着用は禁止です。

現地での連絡手段

現地での連絡手段にLINEのオープンチャットを使用しますので、
この場で登録をお願いいたします。



※LINEオープンチャットとは、LINEの友だちになっていなくてもトークルームが利用できる機能です。

感想文提出 & 動画インタビュー協力をお願い

KDDI労働組合ホームページに掲載するため、感想文(500文字～600文字程度)の提出をお願いします。

(提出方法や締切については、平和行動終了後に改めてご案内します。)

また、動画インタビューも実施予定ですので、ご協力をお願いいたします。

本取り組みの目的は、より多くの組合員に「戦争」と「平和」について伝えることです。

写真・動画撮影について

活動中の写真・動画撮影にご協力ください。

撮影した写真は、KDDI労働組合の参加者とGoogleフォトの共有フォルダで共有します。どなたでもアクセス可能な設定としますので、皆さんが撮影した写真はフォルダへアップロードをお願いいたします。

(Googleフォトの利用方法は、開催までに改めてご案内します。)

※撮影した写真・動画は、情報労連およびKDDI労働組合の公式HPやSNSに掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



第35回 長崎平和フォーラム 参加者向け事前学習会

2025年7月23日

KDDI労働組合 現地スタッフ紹介



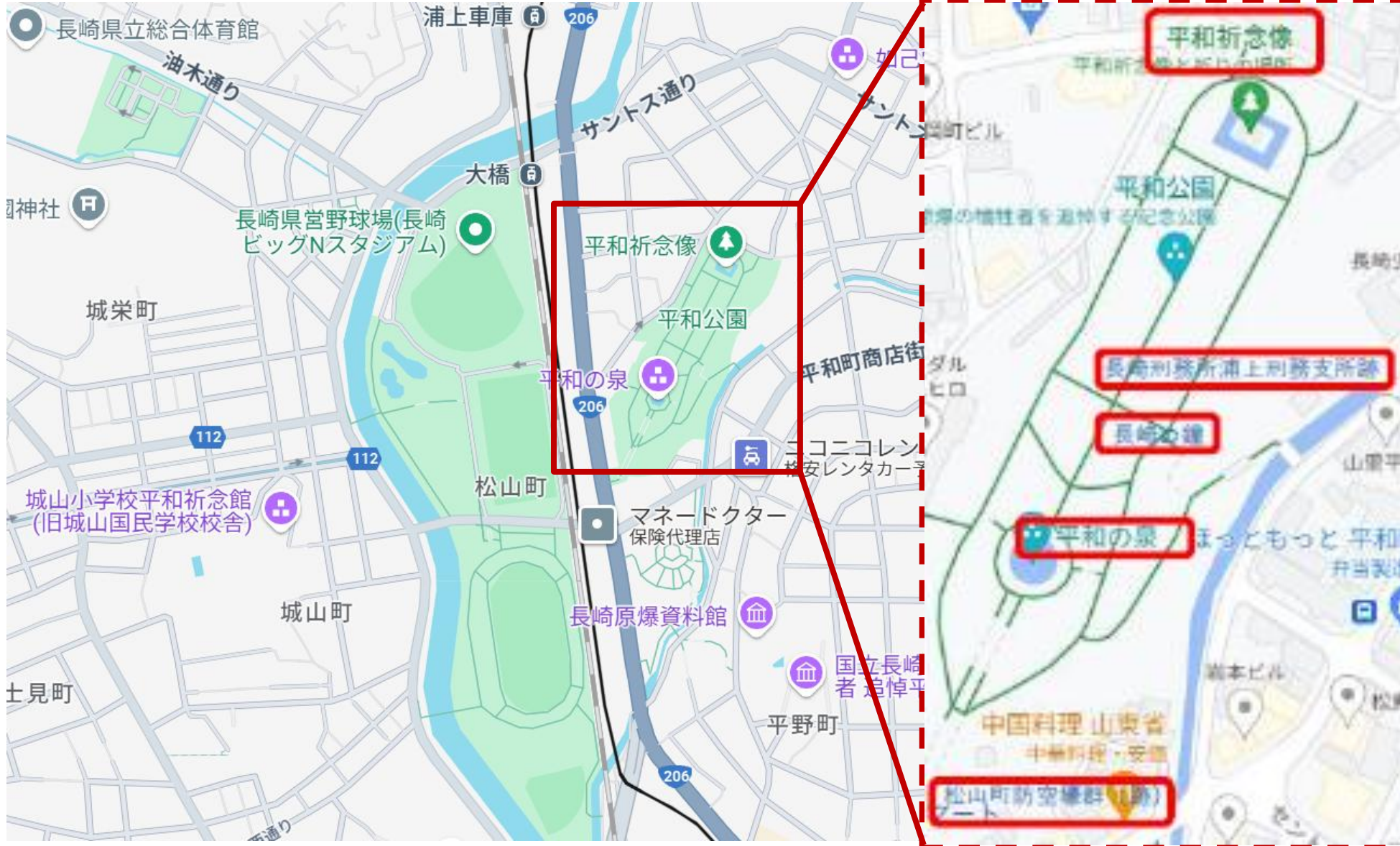
KDDI エンジニアリング支部
執行委員 勝田 慎一
(かつた しんいち)



本社中央支部
執行委員 村田 唯
(むらた ゆい)

学習スポットの紹介

「遺構・碑めぐり」学習先①



- ・平和祈念像
- ・刑務所跡
- ・長崎の鐘
- ・平和の泉
- ・防空壕

1.平和祈念像（へいわきねんぞう）

1945年8月9日の長崎への原子爆弾投下による犠牲者を慰霊し、世界の恒久平和を祈念して建立されました。

制作者：北村西望（きたむら せいぼう）

建立年：1955年（昭和30年）8月9日

高さ：約10m、台座を含めると約14m

■平和祈念像のポーズに込められた意味

- ・天を指した右手：原爆の脅威
- ・水平に伸ばした左手：世界の平和
- ・横にした右足：原爆直下後の長崎市の静けさ
- ・立てた左足：救った命
- ・閉じた目：原爆犠牲者への冥福を祈る気持ち



2.長崎の鐘（ながさきのかね）

動員学徒・女子挺身隊・徴用工・一般市民・原爆殉難碑



原爆による犠牲者の慰霊、核兵器の廃絶、世界の恒久平和を願って建立されました。

鐘を支える4本の柱はそれぞれ、動員学徒、女子挺身隊、徴用工、一般市民をを表し、鐘はアンゼラスの鐘を模しています。

制作者：鐘自体の鑄造は佐藤鑄工場（長崎市）が担当

建立年：1967年（昭和42年）8月7日

高さ：約4m

■ 「長崎の鐘」の由来

長崎医科大学（現 長崎大学医学部）附属病院の鐘が、原爆投下後も焼け残り、被災者や遺族を慰めたことに由来

3.平和の泉（へいわのいずみ）

「平和の泉」は、1945年8月9日に長崎に投下された原子爆弾によって亡くなった多くの人々、とくに

「水を求めながら亡くなった犠牲者」を慰霊し、世界の恒久平和を祈念するために建立されました。

泉の中央には「鳩」が羽ばたくデザインの噴水が設置され、泉の縁には、被爆当時、水を求めて亡くなった少女の手記の一部が刻まれています。

建立年：1969年（昭和44年）8月8日

直径：18m



「遺構・碑めぐり」学習先②



4.電通慰霊碑（でんつういれいひ）



電通慰霊碑は、1945年8月9日の長崎への原爆投下で命を失った電気通信労働者たちを祀るために、1975年に建立されました。

慰霊碑の台座は3つの面で構成されており、核廃絶と平和を希望する市民、電気通信労働者、未来のために手を取り合うすべての人々が象徴されています。

5.被爆地層（ひばくちそう）



長崎市に投下された原子爆弾『ファットマン』によって、周辺の地形や地層が大きく変わりました。この爆撃によって、多くの建物が破壊され、放射線や熱線により無数の死傷者が出ました。現在でも、この地域には原爆による被害の痕跡が残されています。

破壊された建物の残骸や焼けた土、溶けたガラスなどが含まれている地層が資料として保存されています。

6.原子爆弾落下中心地碑



原子爆弾が投下された中心地で15万人もの人々の命が奪われました。原爆により命を落とした人々の名前が遺されており、毎年多くの人々がここで黙とうをささげています。

碑の周りには円が広がるデザインがされており、原爆がここから中心に広がっていく様を表しています。

2. 被災地支援の取り組み

(1) 能登半島地震への対応

- 1) 第30回定期全国大会翌日に、NPO法人おらっちゃ七尾や七尾商工会議所青年部などと連携し、七尾市石崎地区において定期全国大会参加者およびKDDI北陸総支社メンバーを含む総勢約130名にてボランティア活動を実施しました。(2025年7月5日)

URL <https://www.kddiwu.jp/kwp/magazinecat/45503/>

- 2) 情報労連「愛の基金」助成金贈呈式にあわせてNPO法人おらっちゃ七尾が実施する被災地ボランティアに参加し、被災家屋の家財整理や搬出作業を実施しました。(2025年12月7日)

URL <https://tunag.jp/m/feeds/21954448>

- 3) ボランティア支援金制度を活用した有志でのボランティア活動参加を組合員へ募集し、公費解体を控えた建物の家財整理や搬出作業を行う活動に6名が参加しました。(2026年5月16日)

URL <https://tunag.jp/m/feeds/25215706>

(2) ボランティア支援金制度の取り組み

2025年度は、能登半島地震に対するボランティア参加の報告があり、のべ11名の組合員に対して85,000円の支援を行った。

(3) 自然災害に対する支援の取り組み

地震や台風、豪雨など自然災害の被害に遭った組合員に対して、被害状況の確認は行ったが、支援実績はなかった。

3. 防災・減災の取り組み

(1) 防災・減災セミナーの開催（※詳細は支部代表者会議資料参照）

組合員一人ひとりが災害への備えについて考え、防災・減災に対する意識を高めることを目的に、「防災・減災セミナー～みんなで学んで体験しよう！災害への備え～」を開催した。

1) 日時

第1回 2025年10月15日（水）10：00～11：30

第2回 2025年11月 1日（土）10：00～11：30

第3回 2026年 4月15日（水）18：30～20：00

2) 参加状況

第1回：25組／27名

第2回：36組／50名

第3回：23組／33名

3) 内容

- ・主催者代表あいさつ
- ・防災・減災学習について
- ・グループワーク① 防災の備えをみんなで確認しよう！
- ・グループワーク② 災害用伝言ダイヤルを体験しよう！

(2) 防災・減災学習ツアー（※詳細は支部代表者会議資料参照）

体験型の活動を通じて災害の脅威や復興の歩みを学び、防災・減災への意識向上と日常生活における災害への備えにつなげることを目的に、防災・減災学習ツアーを実施した。

1) 日時

2026年1月24日（土）～25日（日）

2) 参加状況

20名

3) 場所

兵庫県神戸市・淡路市

4) 内容

- ・人と防災未来センター
 - －「1.17シアター」による震災体験
 - －震災の記録・復興への歩みの見学
 - －防災・減災体験学習

- ・北淡路震災記念公園
 - －野島断層（実物断層）見学
 - －メモリアルハウス見学
 - －震災体験館での地震体験
 - －語り部講話

- ・神戸港震災メモリアルパーク
 - －被災岸壁見学
 - －震災の記憶と復旧・復興の歩み学習

防災・減災の取り組み 関連資料

KDDI労働組合

防災・減災セミナー

2025年11月1日(土)

10:00~11:30



KDDI労働組合 防災・減災セミナー

10:00から開始します。しばらくお待ちください。

・ログイン名は「グループ_氏名」に変更してください。

- ▶自分の名前にカーソルを合わせる
- ▶「詳細」ボタンが現れるのでクリック
- ▶「名前の変更」が表示されるのでクリック
- ▶任意の名前「グループ_氏名」に変更



プログラム

10:00~10:05

挨拶

10:05~10:10

アイスブレイク 防災・減災 ○× クイズ

10:10~10:20

防災・減災の備えの必要性

10:20~10:50

グループワーク①&発表

10:50~11:20

グループワーク②&発表

11:25~

事務連絡

KDDI労働組合 中央本部
中央執行委員長

浦 早 苗



防災・減災 クイズ

第1問

地震のときは机の下に潜ったら
必ず頭を守るのが正解である



or



第1問

地震のときは机の下に潜ったら
必ず頭を守るのが正解である

揺れによる落下物から頭を守るのが第一。
机の脚を持って支えることで、机が動いても一
緒に動ける。



第2問

非常食の乾パンや缶詰は、
一般的に10年以上保存できる



or



第2問

非常食の乾パンや缶詰は、
一般的に10年以上保存できる

缶詰や乾パンは一般的に3～5年程度。
最近では7年保存可能なレトルトもあるが10年以
上はほぼない。



第3問

避難所ではペットも
同じスペースと一緒に避難できる



or



第3問

避難所ではペットも
同じスペースと一緒に避難できる

多くの自治体では「人と動物のスペースは分離」が基本。衛生・アレルギー・騒音の観点から別スペースになる。



第4問

大雨のときはマンホールのふたを開けると『水が一気に流れ込み安全になる』。



or



第4問

大雨のときはマンホールのふたを開けると『水が一気に流れ込み安全になる』。

正解は×！大雨のときのマンホールを開けると地下から水があふれ、吸い込まれる危険がある。



第5問

携帯電話の『171』は
災害時に安否を確認できる番号である。



or




第5問

携帯電話の『171』は
災害時に安否を確認できる番号である。

災害時に自分や家族の安否を録音・再生できる。
体験利用日（毎月1日・15日）もある。
本日も体験します！





防災・減災の備えの必要性

日本の災害リスク現状

【日本は世界有数の災害多発国】

●地震、津波、台風、豪雨、土砂災害など様々な自然災害が頻発している。

●災害統計によると、発生件数は「台風」が**57.1%**と最も多く、被害額では「地震」が8割超を占める。

●気候変動の影響により、降雨量・流量の増加が予測され、水害の更なる頻発・激甚化が懸念されている。

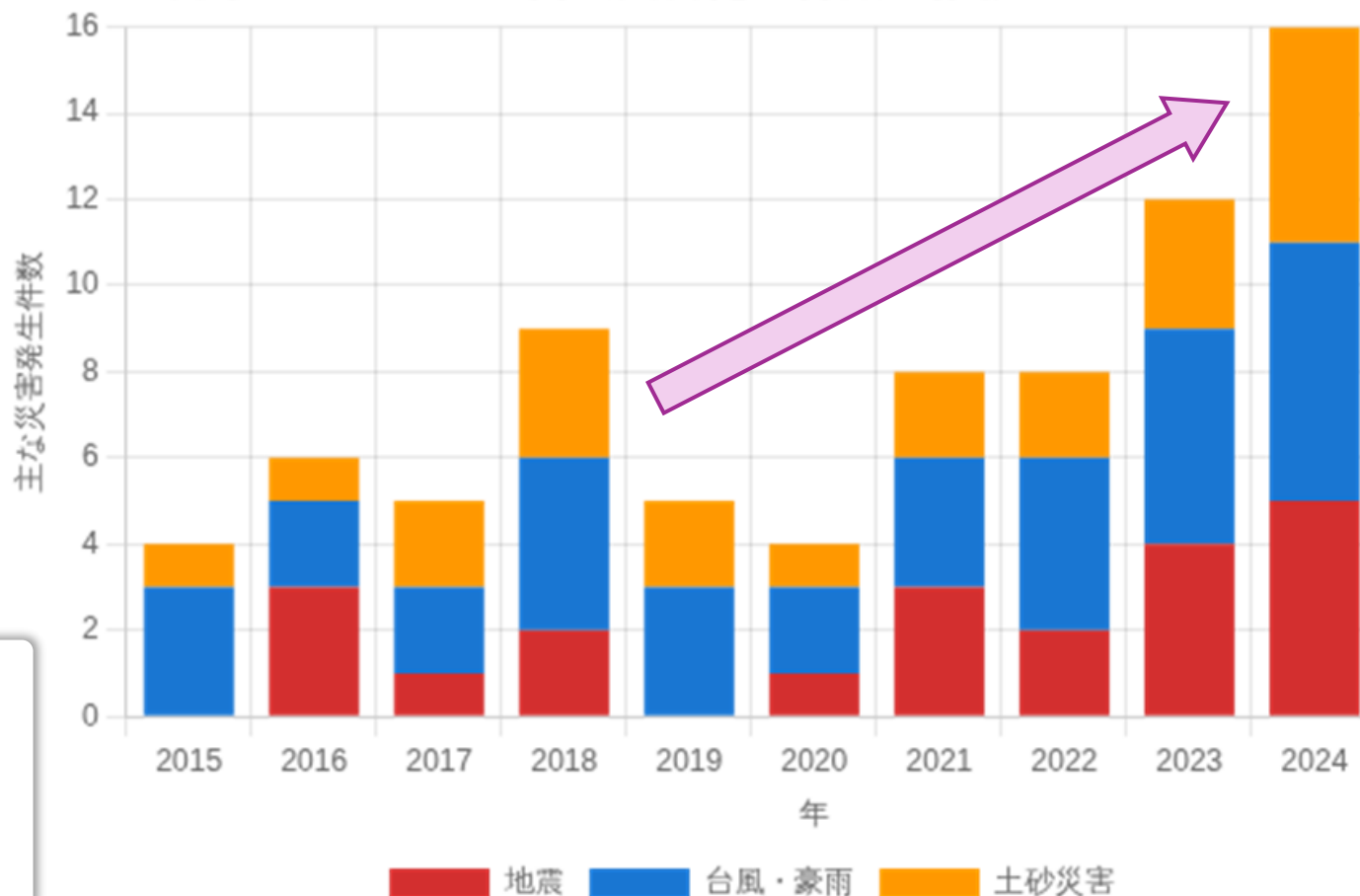
世界の災害リスク指数
(2025年版)

17位 / 193カ国中

1時間降水量50mm以上の大雨
(2015-2025)

334回 / 年間平均

日本における主な自然災害発生件数の推移



過去の災害実例

地震・津波



東日本大震災（2011年）

M9.0 / 死者・行方不明者 2万2300人
津波高最大40m / 原発事故併発

地震



熊本地震（2016年）

最大震度7 / 2度の大地震
家屋全半壊4万3000棟以上

豪雨



西日本豪雨（2018年）

死者・行方不明者 245人
浸水被害5万4000棟以上

近年の災害は「激甚化」「頻発化」「広域化」する傾向にあり、いつ、どこで被災してもおかしくない状況です。過去の災害から学び、日常から備えることが大切です。

災害時の通信インフラへの影響

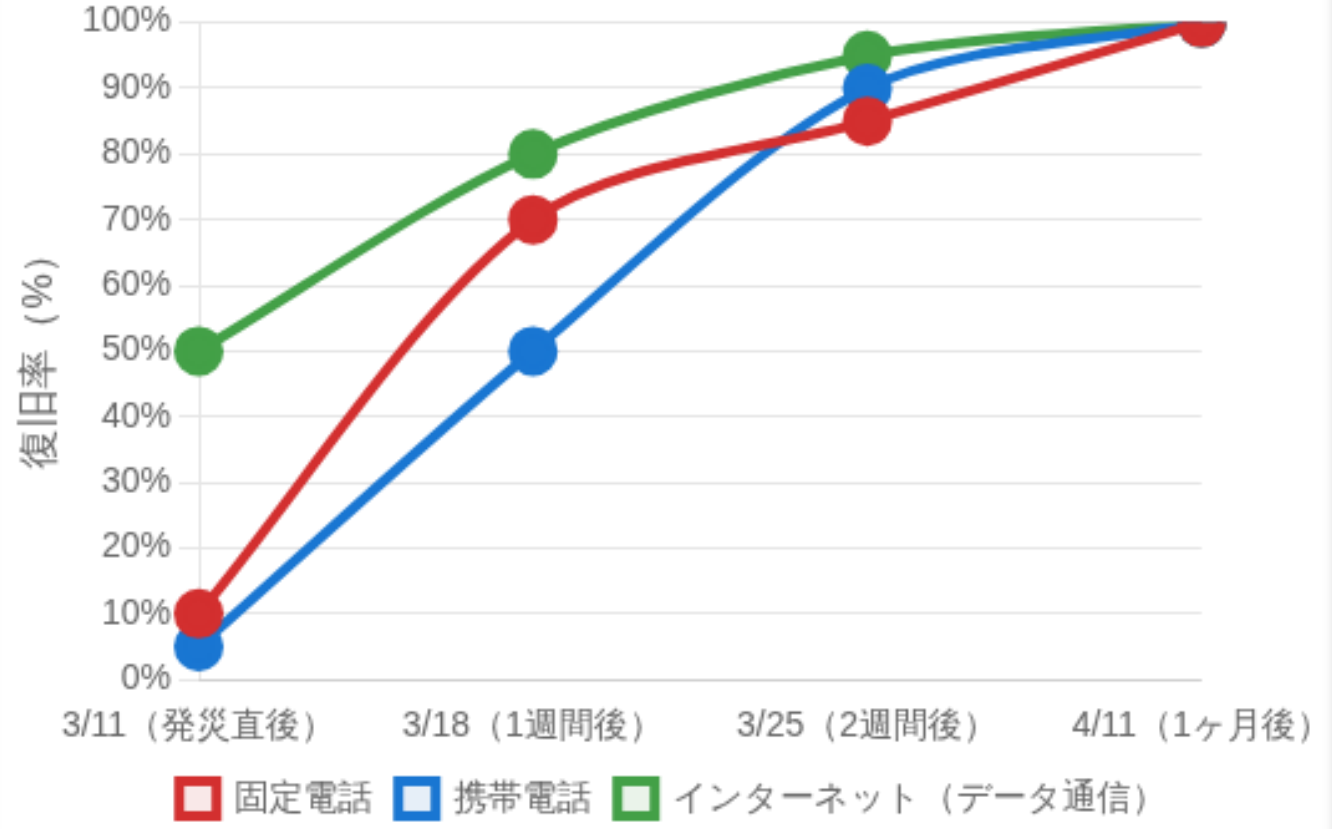
東日本大震災（2011年）通信インフラ被害状況

 固定電話被災回線 190万回線	 携帯電話基地局停止 2.9万局	 被災地向け通信規制率 最大95%
---	---	--

【通信規制】
東北被災地域向けの通話が最大95%規制され、
ほぼ不通状態に

【災害時に有効だった通信手段】
データ通信：通話と比較するとつながる
公衆電話：災害時優先で通信規制の対象外
災害用伝言サービス：安否確認に活用

東日本大震災後の通信インフラ復旧率推移



グループワーク.1

災害への備えをみんなを確認しよう！
(25分)

※ワーク終了後、代表グループに発表してもらいます。発表者を決めておいて下さい。

※発表者はみんなの発言をメモしておいてください。

グループワーク.1

1_自己紹介（10分）（1分程度/人）

▶名前・部署名・普段災害に備えているものは？

2_防災リュックの中身の紹介（5分）

3_考えよう！「避難生活に必要なものは？」（10分）

防災リュック



- ①リュック本体（色はランダム）
- ②2WAYライト
- ③単3電池4パック（10年保存）
- ④マジックライスミニ ×
- ⑤10年保存水 × 3
- ⑥簡易トイレ × 3
- ⑦流せるペーパー
- ⑧防災ウェットティッシュ
- ⑨給水バッグ 5L
- ⑩アルミホイッスル
- ⑪耐切創手袋
- ⑫静穏アルミシート
- ⑬レインポンチョ
- ⑭個包装マスク × 3
- ⑮ブルーシート × 3
- ⑯携帯スリッパ
- ⑰絆創膏
- ⑱ボールペン
- ⑳防災マニュアル



「避難生活に必要なものは？」

・ あなたは、必要な物を持って、
これから避難所へ移動しなければなりません。

・ 避難所（小学校／中学校の体育館）で
数日間生活するには、何が必要となりますか？

<メモ>

•

グループワーク 1 終了

【グループワーク発表】

みんなで考えよう！

「避難生活に必要なものは？」

災害の「備え」チェックリスト

各家庭で必要な「備え」を考えて
チェックリストに追加しよう！

不足している物は確認し、必要であれば補充、収納しておこう。

家で避難生活する場合もあれば、避難所で生活することもあります。











防災リュックに収納しておいた方が良いでしょう。
入れておかなくても良いでしょう。
状況を想定して必要なものを考えてみよう。

※不足している物はこの機会に購入して、備えておきましょう！

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

災害の「備え」チェックリスト

監修／内閣府政策統括官（防災担当）、内閣府男女共同参画局

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 食品 <small>（に飯（アルファ米など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意）</small> <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 衣類・下着 <input type="checkbox"/> レインウェア <input type="checkbox"/> 紐なしのスニーカー <input type="checkbox"/> 懐中電灯（※手動充電式が便利） <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（※手動充電式が便利） <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 救急用品 <small>（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）</small> <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ブランケット 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ペン・ノート <p style="text-align: center; background-color: #FFD700; padding: 2px;">感染症対策にも有効です!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 体温計 <p style="text-align: center; background-color: #FFD700; padding: 2px;">一緒に持ち出そう!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 貴重品 <small>（通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど）</small>
--	--

子供がいる家庭の備え

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ミルク（キュータイプ） <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 子供用紙オムツ <input type="checkbox"/> お尻ふき <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 <input type="checkbox"/> ネックライト 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 抱っこひも <input type="checkbox"/> 子供の靴
--	---	---

女性の備え

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> おりものシート 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル
---	---	--

高齢者がいる家庭の備え

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 補聴器 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 介護食 <input type="checkbox"/> 入れ歯・洗浄剤 <input type="checkbox"/> 吸水パッド 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 <input type="checkbox"/> 持病の薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー
--	--	---

備蓄品
お家に備えておくもの！

- 食料や水（最低3日分！できれば1週間分）×家族分
（保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能！）
- 生活用品
（例えば、ティッシュ、トイレトーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯トイレ…など）

ほかにも、家庭に必要なものは日ごろから備えておきましょう

グループワーク.2

災害用伝言ダイヤルを体験しよう！
(25分)

※ワーク終了後、代表グループに感想を発表してもらいます。
発表者を決めておいて下さい。

グループワーク.2

- 1_災害用伝言ダイヤルに録音してみよう！（10分）
- 2_災害用伝言ダイヤルを再生してみよう！（10分）
- 3_災害用伝言WEBも活用しよう！（5分）

171へ伝言を録音してみよう！

**今日使用する電話番号
080-XXXX-XXXX**



伝言の登録（録音）方法

- ① 171へダイヤル
- ② 「1（録音）」をダイヤル
- ③ 伝言を録音する電話番号をダイヤル
- ④ 伝言の録音

※「自分の名前」「安否状況」「伝えたいこと」を録音

例「組合太郎です。私は無事です。KDDI小学校に避難しています。落ち着いたら連絡します」

171の伝言を再生してみよう！

**今日使用する電話番号
080-XXXX-XXXX**



伝言の確認（再生）方法

- ① 1 7 1 へダイヤル
- ② 「2（再生）」をダイヤル
- ③ 伝言を再生する電話番号をダイヤル
- ④ 伝言の再生

※伝言がない場合

「お預かりしている伝言はありません」

災害伝言WEB登録

ウェブ版 の使い方 の紹介！



NTT東日本 NTT西日本

伝言の登録や確認ができます。

電話番号

1 080

1 登録 確認

お知らせ

本日は体験利用が可能です。
この機会に、ご家族等と利用方法を確認していただき、使い方を覚えてください。

サービス詳細

伝言板の登録・更新・削除が利用できます。

伝言板の登録・更新・削除

戻る 伝言の登録

080 の伝言板です。
0件の伝言が登録されています。

あなたの情報

お名前（ひらがな）

1 たなかたろう

安否（状態を選択してください）

2 無事です 被害があります
 自宅にいます 避難所にいます

伝言 最大100文字

3 ケガはありません。水と食料がやや少ないです。

4 登録

最初のページへ戻る

登録完了

080 の伝言板に伝言を追加しました。
1件の伝言が登録されています。

最初のページへ戻る

1. たなかたろう@ 10月20日22:23
安否：自宅にいます。
ケガはありません。水と食料がやや少ないです。

[更に伝言を登録する](#)

Copyright (C) 2012 NTT EAST / NTT WEST Inc. All Rights Reserved.

ウェブ版 の使い方 の紹介！



au 22:23

リーダー表示を使用できません

災害用伝言板 (web171)

NTT東日本 NTT西日本

伝言の登録や確認ができます。

電話番号

080

登録 確認

お知らせ

本日は体験利用が可能です。
この機会に、ご家族等と利用方法を確認していただき、使い方を覚えてください。

サービス詳細

au 22:23

web171.jp

戻る 伝言一覧

080 の伝言板です。
1件の伝言が登録されています。

登録

1. たなかたろう@ 10月20日22:23
安否：自宅にいます。
伝言：ケガはありません。水と食料がやや少ないです。

[最初のページへ戻る](#)

Copyright (C) 2012 NTT EAST / NTT WEST Inc. All Rights Reserved.

グループワーク 2 終了

アンケート

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=GWf584HuEU6X5CLzSy-Ik1yVLL7wHBdAq0Vyz7jyF3hUQIU5RIIQNE9STDFBVIpKOEVMQVJSVjhJMi4u>



終了

第6問

災害用に備蓄する水は
1人あたり1日3リットルが目安である。



or



第6問

災害用に備蓄する水は
1人あたり1日3リットルが目安である。

飲料用1.5ℓ + 調理・洗浄用1.5ℓが目安。
最低3日、できれば1週間分を備蓄すると安心。



第7問

災害時に停電しても、非常時には自動販売機から飲料を取り出せることがある。



or



第7問

災害時に停電しても、非常時には自動販売機から飲料を取り出せることがある。

災害時支援型自販機は非常電源で稼働し、非常時に飲料を提供できる。

※鍵は自販機の担当者が保管



専用キーで飲料を無償提供できる設定に変更できます

無料で飲料が提供されます

※平時は通常の自動販売機として飲料を販売
※通電状態がご利用の前提になります



第8問

地震が起きたとき、エレベーターに乗っていたら全ての階のボタンを押すのが正解である。



or



第8問

地震が起きたとき、エレベーターに乗っていたら全ての階のボタンを押すのが正解である。

どこかで早く止まれる可能性が高まり、
閉じ込め防止になる。



第9問

非常食の『アルファ化米』は、冷たい水でも作ることができる。



or



第9問

非常食の『アルファ化米』は、冷たい水でも作ることができる。

冷水60分で食べられる。
災害時に火や湯が使えないときに役立つ。



第10問

災害時、どの家の中でも
最も安全とされるのはトイレである。



or



第10問

災害時、どの家の中でも最も安全とされるのはトイレである。

一概に安全とは言えない！トイレが家の角にあるなど構造的に強い場所の場合は比較的安全。柱と柱の間、耐力壁の近くが最も高耐久。



第11問

日本で『津波注意報』が発表される高さの目安は50cm以上の津波である。



or



第11問

日本で『津波注意報』が発表される高さの目安は50cm以上の津波である。

正解は20cm以上！

人が転倒・流される危険があるため。
50cmだと車を流す危険もあります。



第12問

非常持ち出し袋に入れる乾電池は、アルカリ電池よりマンガン電池のほうが向いている。



or



第12問

非常持ち出し袋に入れる乾電池は、アルカリ電池よりマンガン電池のほうが向いている。

正解はマンガン電池！懐中電灯を必要な時だけ使うなど小刻み使用に強い！
実はリモコンもマンガンの方がよい。



第13問

災害時に役立つ『カセットボンベ1本』で
約60分ガスコンロを使える。



or



第13問

災害時に役立つ『カセットボンベ1本』で
約60分ガスコンロを使える。

標準火力で約60分連続使用可能！
1日1本×人数×日数が備蓄目安。



第14問

東日本大震災で、津波からの避難に成功した人の多くは『揺れを感じてすぐ避難した』人だった。



or



第14問

東日本大震災で、津波からの避難に成功した人の多くは『揺れを感じてすぐ避難した』人だった。

揺れを感じて即避難した人ほど助かっている！
津波の危険性のある地域の場合は覚えておきましょう。



第15問

富士山が噴火した場合、火山灰は東京まで届く。



or



第15問

富士山が噴火した場合、火山灰は東京まで届く。

正解は○！風向き次第では東京23区にも
数cm積もる可能性あり。



災害の「備え」チェックリスト



非常持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

- 家族の連絡網
- ハザードマップ／避難所マップ
- 水
- 食品
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- 紐なしのズック靴・サンダル
- 懐中電灯（※手動式が便利）
- 携帯ラジオ（※手動式が便利）
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品

（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）

- 使い捨てカイロ
- アルミシート
- ブランケット
- 軍手

- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- お皿・コップ・お箸など
- ペン・ノート
- 携帯トイレ
- ゴミ袋

■■■■■感染対策にも有効です！！■■■■■

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計

■■■■■一緒に持ち出そう！！■■■■■

- 貴重品（通帳、現金、パスポート、免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど）

子供がいる家庭の備え

- ミルク（キューブタイプ）
- 使い捨て哺乳瓶
- 離乳食
- 携帯カトラリー

- 子供用紙オムツ
- お尻ふき
- 携帯用お尻洗浄機
- ネックライト

- 抱っこ紐
- 子供の靴

女性の備え

- 生理用品
- おりものシート

- サニタリーショーツ
- 中身の見えないごみ袋

- 防犯ブザー

高齢者がいる家庭の備え

- 大人用紙パンツ
- 杖
- 補聴器
- 入れ歯

- 入れ歯用洗浄剤
- 男性用吸水パッド
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 持病の薬

- お薬手帳のコピー

備蓄品

家に備えておくもの！

- 食料や水（最低3日分！できれば1週間分）×家族分

保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に備蓄が可能！

- 生活用品

4. 政策・制度実現に向けた取り組み

(1) 政治啓発の取り組み

1) 政治学習会

※「IV. 参考資料 支部代表者会議」参照

労働組合役員として政治の重要性を理解すること、労働組合役員の経験を持つ議員から、役員目線での政治との関わり方を学ぶことを目的に、政治学習会を実施した。

日 時：2025年11月19日(水) 18:30~19:30

開催方法：WEB開催

参加対象：支部執行委員、中央本部

講 師：浅野哲衆議院議員(国民民主党)

内 容：浅野議員が労働組合役員を経て政治家を目指したきっかけや、労働組合と政治の関わり等を共有し、労働組合役員としての行動の必要を解説された。

参加者：計60名

2) 機関誌による啓発(議員だより)

組織内議員の取り組みを周知し、政治についての意識醸成を図るため、機関誌に「議員だより」のコーナーを設け、組織内議員からの寄稿を掲載した。

①内 容：所属する委員会や国会活動における直近の活動状況

主たる政策の国会での取り組み進捗状況

直面する政治課題と議員自身の考え等

②掲載号：2025年 9月号：吉川 さおり 参議院議員

2025年10月号：石橋 みちひろ 参議院議員

2025年11月号：岡本 あき子 衆議院議員

2025年12月号：たじま 要 衆議院議員

2026年 4月号：石橋 みちひろ 参議院議員

2026年 5月号：たじま 要 衆議院議員

(2) 政治に触れ合う機会の提供

1) 国会議事堂見学および意見交換会

※「IV. 参考資料 支部代表者会議」参照

組合員の政治参画意識の向上や政策活動の必要性について理解浸透を図るとともに、組織内議員とその活動を身近に感じる機会とすること、また政治に対する疑問や意見を組織内議員へ共有し、国政活動に反映させることを目的に、以下の概要にて国会議事堂見学ツアーおよび組織内議員との意見交換会を実施した。

日 時：第1回 2026年3月27日(金) 10:30~13:30

第2回 2026年4月 4日(土) 13:00~15:30

場 所：国会議事堂、議院議員会館(第1回)、外部貸会議室(第2回)

登壇者：たじま 要 衆議院議員

内 容：①国会議事堂内(衆議院本会議場・御休所・中央広間等)のコース見学

②組織内議員の活動紹介、質疑

対 象：組合員とその家族

備 考：遠方参加者に対し、新幹線利用者および飛行機利用者のチケット代を1家族あたり

2名分まで組織負担とする施策を実施

参加者：第1回 9組 17名

第2回10組 17名

(3) 政策・制度実現に向けた取り組み

政策・制度実現に向けた取り組みのための資金として、以下のとおり資金拠出の取り組みを行った。

対 象 者：2025年12月の年末賞与支給日時点における組合員

※ただし、①非組合員扱い、②休職者、③年末賞与不支給者（料金アドバイザーなど、賞与支給のない契約社員を含む）、④2025年11月期および12月期加入承認の組合員（事前告知が不可のため）は対象外とした

拠 出 額：組合員一人当たり、300円 ※前年度300円

拠 出 方 法：年末賞与よりチェックオフ（年末賞与支給日に天引き）

不賛同申請期間：2025年10月14日（火）～11月6日（木）

不賛同申請方法：労組HP内に設置した「不賛同申請フォーム」からの申請

拠 出 者 数： 10,152名 ※前年度 10,348名

集 約 金 額：3,032,400円 ※前年度 3,104,400円

不 賛 同 者 数： 827名 ※前年度 815名

※「IV. 参考資料 支部代表者会議」参照

(4) 第51回衆議院議員総選挙への対応

1) 投票啓発の取り組み

第51回衆議院議員総選挙への対応として、組織内議員が立候補する「中道改革連合」の認知度向上ならびに投票行動の促進に向けた情報発信を以下のとおり行った。

① そうだ、投票に行こう！～今週末は期日前投票もいいね編～（1月30日）

URL：<https://tunag.jp/m/applies/34129210>

② そうだ、投票に行こう！～第51回衆議院選挙、情報労連の推薦候補をチェックしよう編～（2月3日）

URL：<https://tunag.jp/m/applies/34299402>

③ そうだ、投票に行こう！～センキョ割活用編（2月6日）

URL：<https://tunag.jp/m/applies/34357600>

2) 第51回衆議院議員総選挙に対するアンケート

4月7日から4月24日にかけて、第51回衆議院議員総選挙に対するアンケート（情報労連主催）を実施した。組合員に対して、号外メルマガを中心に呼び掛けを行うとともに、支部執行委員・職場委員からの直接的な呼び掛けにより、855名の組合員が回答した。

政策・制度実現に向けた取り組み 関連資料

Rengo Academy

**私達はサポーターじゃない、
プレーヤーだ。**

2025.5.11 / 浅野さとし

自己紹介

浅野さとし（1982年9月生まれ、42歳）

**執行部泣かせの若手組合員だった私。
お願いする側になり、伝える難しさを痛感。**

- 2007年 日立製作所 入社
- 2013年 日立労組 研究所支部 執行委員
- 2015年 衆議院議員大島章宏 秘書
- 2017年 衆議院議員 初当選（茨城5区）
- 2020年 国民民主党 結党メンバー
- 2025年 党青年局長、党エネルギー調査会長など



選挙のたびに繰り返されるやり取り

なぜ我々が●●候補を応援しなきゃいけないのか？
この人は私達のために何をやってくれたのか？
そもそも・・・なぜ自民党ではダメなのか？
しっかり説明してくれないなら投票したくない！

(2009、浅野)

当時の労組委員長のことば

私たちの社会は、多くの
法律で活動が制限されています。
だから、政治に無関心な人も、
政治と無関係ではられません。
政治に関心をもって下さい。
選挙に行ってください！



理屈と現実

「政治に無関心な者も、無関係ではいられない。」



その時の浅野



理屈はそうかも知れないけど、
いま政治に関わる必要性も、
この候補者を応援する理由も、
見出せないんだよなあ・・・

理屈と現実

「政治に無関心な者に、政治は関心を寄せない。」



「私たち」の成功体験



電波法改正(2019年)

- 通信業界の声を受け法改正
- 電波法は動画コンテンツ産業の基幹法
- 5G用電波帯域幅を2倍に拡張
- 市場は5年で500億円規模まで急成長



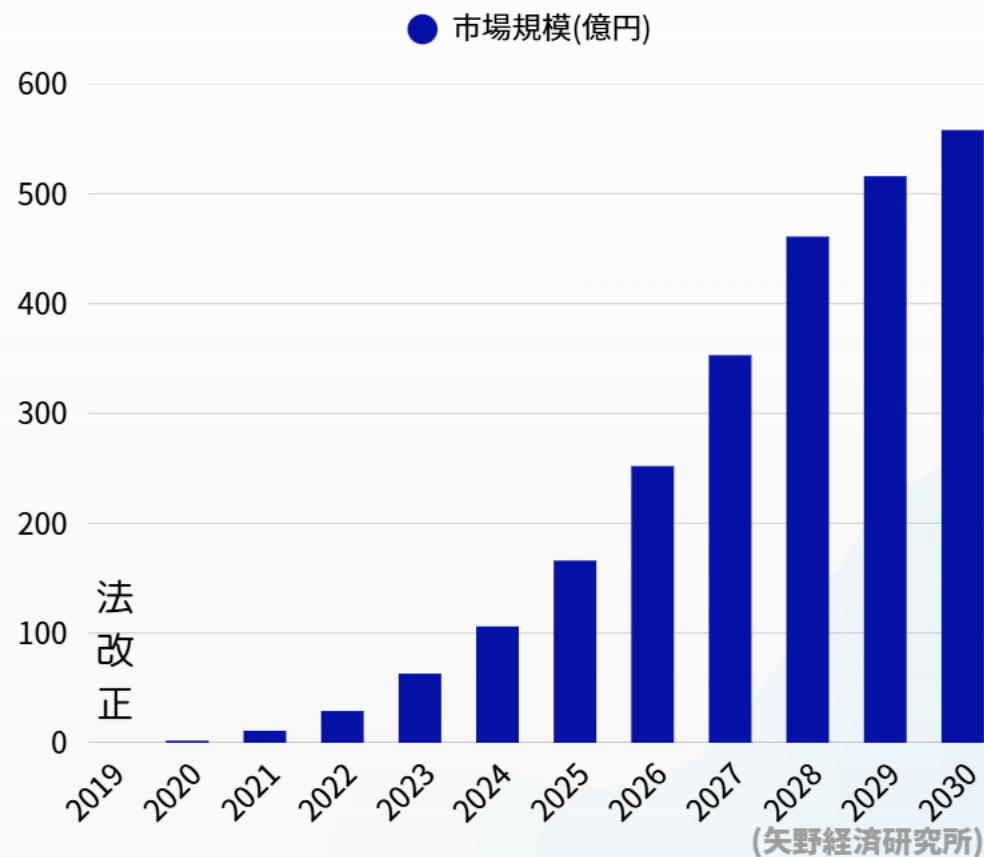
所得制限撤廃(2024年)

- 交代勤務、単身赴任中の組合員の声
- 親向け支援から「全ての子への手当」へ
- 児童手当、補装具費支援の所得制限撤廃
- 補装具費支援：2024年4月から
- 児童手当：2024年10月から

..... 国内ローカル5G製品・サービスにおける市場規模の予測

**国内ローカル5G市場は
2025年度以降に本格普及し、
2030年度に558億円**

「国内ローカル5G市場は現在、黎明期～導入期にあり、本格的に普及するのは2025年度以降になると予想されている。」（矢野経済研究所）



所得制限≡頑張る人に自己責任を求めるしくみ

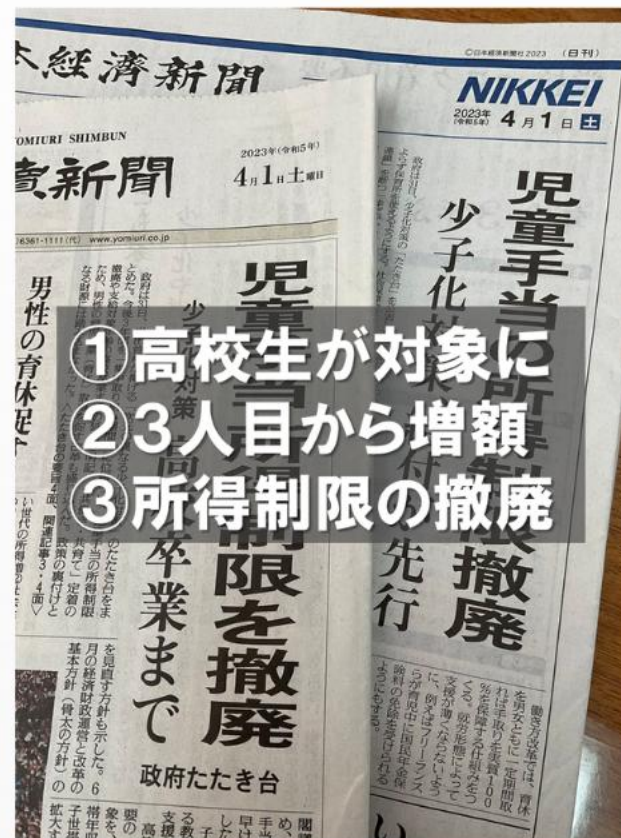


児童手当の所得制限撤廃(2024年10月～)

年齢	現在	改訂後
0～2歳	15,000円/月	15,000円/月 第3子以降 30,000円/月
3歳～小学生	10,000円/月 第3子以降 15,000円/月	10,000円/月 第3子以降 30,000円/月
中学生	10,000円/月	10,000円/月 第3子以降 30,000円/月
高校生	—	10,000円/月 第3子以降 30,000円/月
所得制限	あり 特例給付 5,000円/月	なし

(※1) 第1子が高校を卒業すれば第2子が「第1子」扱いとなります

(※2) 改定後の実施は2024年度中の予定



- ① 高校生が対象に
- ② 3人目から増額
- ③ 所得制限の撤廃

「次、昇給すると、車いすや義足・手が買えません。」



補装具費支給制度の所得制限撤廃(2024年4月～)

こどもが補装具を利用するご家庭の皆様へ

★ **令和6年4月1日に、こどもの補装具費支給制度の所得制限を撤廃します。**

- 具体的には、障害児に係る補装具費支給制度において、以下のとおり変更されます。

【従前】

障害児本人又はその保護者等の世帯員のいずれかが一定所得以上の場合
(※)には補装具費の支給対象外となり、全額自己負担

【令和6年4月1日以降】

障害児本人又はその保護者等の世帯員のいずれかが一定所得以上の場合
(※)も含め、すべての障害児について補装具費の支給対象となり、利用者負担は原則1割

(※)市町村民税所得割の最多納税者の納税額が46万円以上の場合

- なお、利用者負担は、原則1割としつつ、世帯の所得に応じ以下の負担上限月額となっています。

生活保護	生活保護世帯	0円
低所得者	市町村民税非課税世帯	0円
一般	市町村民税課税世帯	37,200円



理屈と現実

「政治の殻を破れば、世の中は面白い。」



政治の殻を破る方法



ポイント：「身近な課題/身近な議員」「途中経過」「一発解決は求めない」

..... サポーターではなくプレーヤーになろう！

↓ ↓ ↓
「プレーヤー」としての行動

- 途中経過を職場に伝える
- 支援理由をみんなと一緒に作る
- 小さな課題にフォーカスする
- 議会に行って、意見を伝える

「サポーター」としての行動

- 最終結果を職場に伝える
- 支援理由をみんなに納得させる
- 大きな課題にフォーカスする
- 議員を呼んで、講演を聞く

..... 「**連合出身議員政治懇談会**」の創設(2022年～)

下記の入会基準に該当する11産別29名全員が参加

○出身組織における現役もしくは元組合員

○出身組織役職員としての実務経験があること



代表世話人：磯崎哲史、岡本あき子
事務局長：浅野哲
副事務局長：勝部賢志、堂込麻紀子



..... 連合政治懇の役割は、「**支持政党の主張に横串を通すこと**」



国会議事堂見学および組織内議員意見交換会総括

働く者の立場に立った政策の実現に向けた取り組みの一環として実施した、国会議事堂見学および組織内議員意見交換会について、以下のとおり総括する。

1. 目的

- (1) 組合員に政治が自分たちの暮らしに直結していること、また組織内議員やその活動について身近に感じてもらう。
- (2) 組合員が政治に対して抱えている疑問や意見を組織内議員へ共有し、国政活動に反映させる。

2. 概要

(1) 開催日時

第1回 2026年3月27日(金) 10:30～13:30

第2回 2026年4月 4日(土) 13:00～15:30

(2) 開催場所

第1回：国会議事堂、議員会館会議室

第2回：国会議事堂、外部貸会議室（レンタルスペースLiLeaS）

(3) 応募期間

2月12日(木)～2月24日(火)

(4) 当日のスケジュール

【第1回】

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 10:00 | 集合、出欠確認（衆議院議員会館1階ロビー） |
| 10:15 | 参観窓口へ移動 |
| 10:30～11:30 | 国会議事堂見学 |
| 11:30～12:30 | 国会議事堂内の議員食堂にて食事後、衆議院議員会館へ移動 |
| 12:30～13:15 | 組織内議員（たじま議員）との意見交換会 |
| 13:15～13:30 | アンケート記入後解散 |

【第2回】

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 12:45 | 集合、出欠確認（衆議院第一別館（衆議員面会受付所）1階ロビー） |
| 13:00～14:00 | 国会議事堂見学 |
| 14:00～14:30 | 会議室へ移動・休憩 ※茶菓子としてケーキ提供 |
| 14:30～15:15 | 組織内議員（たじま議員）との意見交換会 |
| 15:15～15:30 | アンケート記入後解散 |

(4) 参加者

参加者	3月27日	4月4日	合計
関東圏	7 (うち家族4)	10 (うち家族4)	17 (うち家族 8)
地方	10 (うち家族4)	7 (うち家族2)	17 (うち家族 6)
計	17 (うち家族8)	17 (うち家族6)	34 (うち家族14)
関東圏	41. 2%	58. 8%	50. 0%
地方	58. 8%	41. 2%	50. 0%

3. 総括

学生の家族が春休み中であることを踏まえ、3月下旬～4月上旬で開催することとし、実施曜日も2024年度に引き続き平日（金曜日）と休日（土曜日）の2日間設定した。2月の解散総選挙により組織内議員の構成が変更となり対応いただく組織内議員に一部変更があった（両日ともにたじま事務所へ依頼）が、大きな問題はなく開催することができた。

参加者について、当初「地域参加枠」を全体参加者数の4割程度（各回7名）としていたが、3月27日（金）の関東圏の応募者数が6割に満たなかったことから、3月27日（金）に限り「地域参加枠」を6割程度まで引き上げた。組合員割合等を踏まえて「地域参加枠」を全体参加者数の4割程度としているが、関東圏の応募数が少なかった要因は「開催日時が年度末であったこと」「応募期間が土日祝を除く稼働日8日間であったこと」などが想定されることから、次年度以降継続開催する際には、今年度の課題も踏まえ開催時期や応募期間等を検討する必要がある。

国会見学について、組合員アンケートにて“とても満足87. 5%”“やや満足12. 5%”と全員が満足と回答しており、一番印象に残ったこととして「国会議事堂見学」と記述した組合員が回答数の1/3程度であった。また、国会見学には両日とも議員秘書の引率で実施したことで、通常の観覧では見ることのできない場所も観覧（3月27日（金））することができ、組合員からも「普段見られない貴重な経験ができた」「国会議事堂見学で歴史の話も含めて案内してくれたのが良かった」など好評な意見が寄せられている。

次に組織内議員（たじま 要衆議院議員）との意見交換会についても、組合員アンケートにて“とても満足87. 5%”“やや満足12. 5%”と全員が満足と回答しており、組合員から「なかなか聞けないお話をお伺いできて、政治についても理解を深めることができた」「色々な課題に真摯に向き合っていることをあらためて認識した。」「どういう思いで政治に携わられているかなどをお聞きできて大変貴重な経験となった」「意見交換会が思いのほか内容が濃かったように思えた。特に学生の方にも真剣に回答していただいたことはとても良かった。少し時間が短く感じた」など、多くの肯定意見が寄せられたことから、組合員およびその家族の政治に対する興味・関心を高めることができたと考えられる。

また、「参加理由」の自由記述では、子どもへの教育的効果を期待した参加が多く、「印象に残ったこと」の自由記述では、「実際に子どもが質問を行うなど主体的な行動変化も見られた」との回答もあり、今回の国会見学およびたじま議員との意見交換会の重要な成果であったと考える。

加えて、応募時に収集した政治に対する意見・質問は当日の意見交換会の際にたじま議員との直接コミュニケーションにて解消し、実施後アンケートにおいて記載された追加意見等についても議員事務所へ送付し共有を行ったことで、組合員とその家族の政治に対する意見を国政へ届けるための足掛かりとできたと考えられる。

以上

《参考》

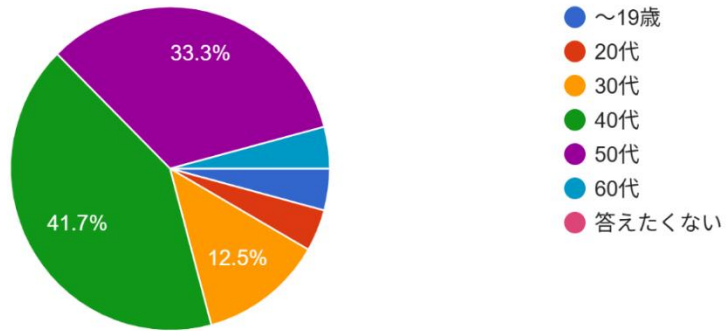
組合員アンケート結果

回答数：3月27日（金）：12件、4月4日（土）：12件 合計24件

■年齢

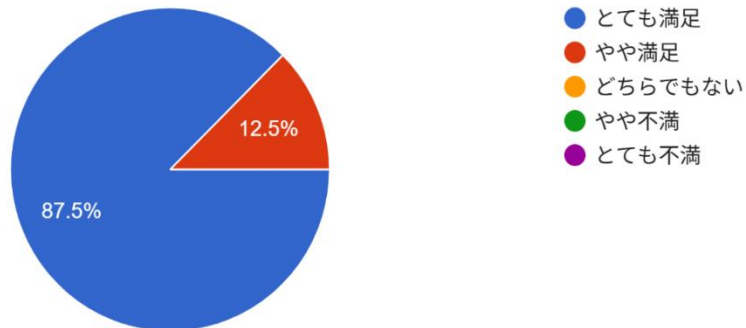
年齢

24件の回答



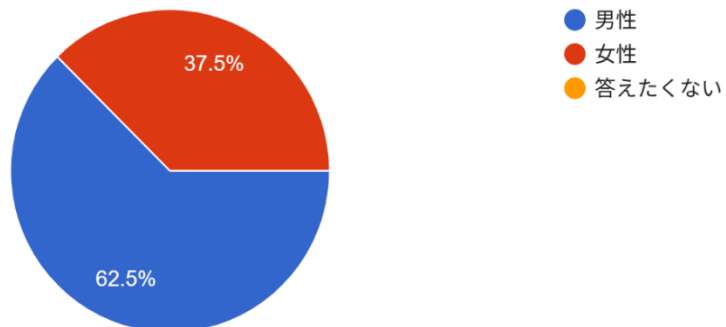
1. 国会議事堂見学について

24件の回答



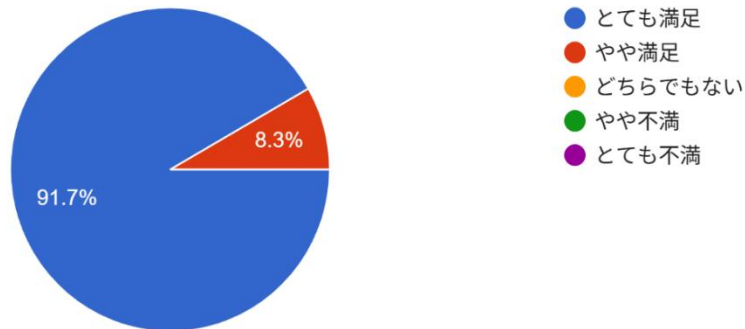
性別

24件の回答



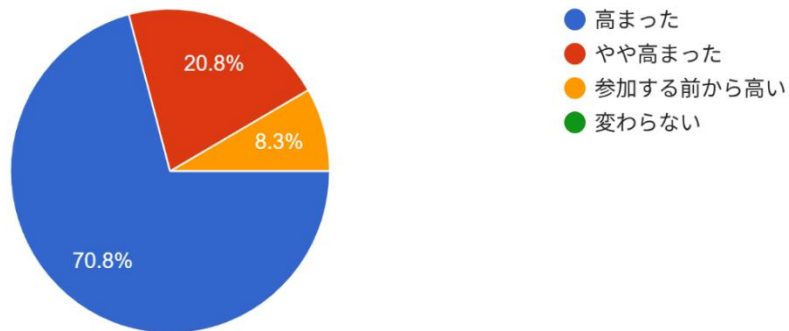
2. 議員との意見交換会

24 件の回答



3. 政治への興味関心は高まりましたか？

24 件の回答



■応募理由（自由記述）

- 国会議事堂を見てみたかった ※他 8 件
- 子供の政治への関心を高めたかった ※他 7 件
- 情報労連に所属する議員の声を直接聞ける機会が貴重だと感じた
- たじま要議員の政策内容についてあらためて再認識したかった
- 衆議院議員選挙関連のお話を聞いたかった
- 地元以外の議員の意見が聞けると考えた
- 面白そうだった

■一番印象に残ったこと（自由記述）

- 意見交換会
 - 政治活動の信念について語ってくれたこと ※他 1 件
 - なかなか聞けない話が聞けて、政治についても理解を深めることができたこと ※他 1 件
 - 政治に真剣に向き合っているかが感じられたこと ※他 1 件
 - 子どもや学生が自主的に質問していたこと ※他 1 件
 - どういう思いで政治に携わられているかなどが聞いたこと
 - 教育についての話

- 議事堂見学

- 初めて見学したこと
- 普段見られない場所が見られたこと
- 建設には莫大なお金がかかっていること
- 歴史の話も含めて案内してくれたこと
- 議場が思っていたよりは小さく感じたこと

※他2件

※他1件

- 意見や要望等

- 現役議員さんと子どもとの対話の場を多く設けて欲しい
- 意見交換の場が分かりやすく、とても良かった
- 政策内容を理解できた
- 有権者の一票の大切さは良く分かった
- 政治に関して今後新たな視点で見ていきたい
- 未来を担う子供が活躍できる世の中にしてほしい
- 気軽な気持ちで参加したが、様々な場所での見学やたじま議員の話など、子どもにとっても自分にとっても良い経験となった
- 今後もぜひ開催してほしい
- また参加したい

以 上

=====
ネット The Union 《号外》 2026年4月7日（火）
=====

どのような政策に興味を持ちましたか？

=====
2月8日（日）に投開票のあった第51回衆議院議員総選挙から2か月が経過しました。

選挙期間において、ニュースや街頭等でさまざまな政策や取り組みに関する発信を目にする機会がありましたが、皆さんはどのようなテーマに関心を持たれましたか。

今後の活動の参考とするため、皆さんの関心ごとや感じていることについて、ぜひ教えてください。

- 接続先URL : https://req.qubo.jp/ICTJ_2231/form/zrbttbJT
- 設問数 : 8問程度
- 所要時間 : 2～3分程度
- 回答期限 : 4月24日（金）

2～3分で終わりますので、以下URLに接続し回答の協力をお願いします。

=====
発行 KDDI労働組合
〒108-8618
東京都港区高輪2丁目21番1号 THE LINKPILLAR 1 NORTH 17F
TEL : 03-5931-4477 FAX : 03-5447-0477
【E-Mail】 info-union@kddiwu.jp
【TUNAG】 https://tunag.jp/users/sign_in
【Web Site】 <https://www.kddiwu.jp/>
【facebook】 <https://www.facebook.com/KDDIWU>
=====

=====
ネット The Union 《号外》 2026年4月24日（金）
=====

あなたの想い、聞かせてください！

=====
先日国会議事堂見学および組織内議員との意見交換会について報告
しましたが、見てもらえましたか？

組織内議員であるたじま要衆議院議員との意見交換会では、参加者
から「普段聞けない話を通じて政治への理解が深まった」、「一票の
大切さを実感した」などの声が多く寄せられ、政治が私たちの働き方
や暮らしに直結していることをあらためて感じる機会となりました。

こうした取り組みを通じて寄せられた組合員の声や想いを、今後の
政策実現や組織内議員の活動にしっかりと反映していくことが重要で
す。

KDDI労働組合では、今後の活動の参考とするため、アンケートを実
施しています。

※2～3分で終わる簡単なアンケートです。

■2月8日の第51回衆議院議員選挙に関するアンケート

https://req.qubo.jp/ICTJ_2231/form/zrbttbJT

※4月24日（金）まで

本アンケートは、皆さん一人ひとりの声を政治へ届けるための大切
な取り組みです。まだ回答されていない方は、ぜひこの機会に協力を
お願いします。

※選挙へ行った方も行かなかった方も回答できます。

皆さんの率直な意見が、今後の活動の大きな力となります。
引き続きの理解・協力をよろしくお願いします。

国会見学ツアーおよび組織内議員との意見交換会の様子は写真等も
交えてTUNAGへ投稿していますので、まだ確認していない方は是非以
下URLより確認してください。

●URL：<https://tunag.jp/m/feeds/24437456>

●KDDI労組 TUNAG For UNION

URL：https://tunag.jp/users/sign_in

ID：tunag2498-036559

PW：ご自身で設定したPWを利用してください。

※初期PW変更済みの方は、任意PWでログイン

※PWの初期化は以下からお問い合わせください。

<https://www.kddiwu.jp/kwp/contact/>

=====
発行 KDDI労働組合

〒108-8618

東京都港区高輪2丁目21番1号 THE LINKPILLAR 1 NORTH 17F

TEL：03-5931-4477 FAX：03-5447-0477

【E-Mail】 info-union@kddiwu.jp

【TUNAG】 https://tunag.jp/users/sign_in

【Web Site】 <https://www.kddiwu.jp/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/KDDIWU>

5. 社会貢献活動

(1) フィリピン・パヤタスの貧困地区への支援

1) 就学支援プログラム

KDDI労働組合として、フィリピン・パヤタス地区の貧困層の子ども84名に対し、スポンサー（里親）支援を実施した。支援にあたり、組合員からスポンサーを募集し、2,295,000円の支援応募を受け付けた。

<募集内容>

期 間：4月1日（水）～5月18日（月）

募集金額：3,050,000円（84名分）

支援金額：①フルサポーター：35,000円/人

②一口サポーター：10,000円/口

※組み合わせ自由、複数エントリー可

スポンサー期間：1年間（2026年6月から2027年5月まで）

<結 果>

支援金額：2,295,000円

組織負担額：755,000円

<支 援 額>

支援額（米ドル）：19,050米ドル（3,051,619円）

※為替の影響による不足分は組織負担

2) 情報宣伝を活用した現地状況の紹介

現地状況をホームページの活動報告に掲載した。 ※（）は発信日

① 「パヤタスの子どもたちからクリスマスの便りが届きました！（2025年12月25日）

URL <https://tunag.jp/m/feeds/22291240>

② 「2026年パヤタス就学支援プログラム」スポンサー（里親）の募集について（2025年4月1日）

URL <https://tunag.jp/m/feeds/24121616>

③ 【パヤタス就学支援プログラム】レミーおばさんヘインタビューを行いました-part 1
-（2025年4月 8日）

URL <https://tunag.jp/m/feeds/24280465>

④ 【パヤタス就学支援プログラム】レミーおばさんヘインタビューを行いました-part 2
-（2026年4月15日）

URL <https://tunag.jp/m/feeds/24436573>

⑤ パヤタス就学支援プログラムの取り組みについて（2026年4月20日）

URL <https://tunag.jp/m/feeds/24560829>

(2) ネイチャーポジティブの取り組み

1) 環境学習ツアー

気候変動や環境汚染の実態把握および環境保全への取り組みを学習、体験し、ネイチャーポジティブに関する意識の啓発を目的に「環境学習ツアー」を開催した。※内容は組織部長会議資料参照

- ①日 時：2025年10月25日（土）～26日（日）
- ②参加者：21名（参加者17名、事務局4名）
- ③場 所：山の農園（福島県郡山市逢瀬町多田野字大将旗2）
- ④内 容：植生観察（高篠山森林公園）
SDGsカードゲーム
郷土食づくり
ワークショップ「気候変動から考える未来」

2) 情報宣伝を活用した啓発

WEB機関誌、TUNAG機関誌にネイチャーポジティブをテーマにした記事の掲載を行った。

【WEB機関誌】

- ① ネイチャーポジティブの取り組み 30by30 について（2025年10月1日号）
URL <https://www.kddiwu.jp/kwp/magazinecat/46560/>

【TUNAG機関誌】

- ② 情報労連「全国環境一斉行動」の取り組みについて（2025年4月27日号）
URL <https://tunag.jp/m/feeds/24732067>

(3) プルタブ回収運動

年間を通じて組合員からプルタブの回収を行った。

(4) 書き損じハガキ回収等の取り組み

組合員より書き損じハガキ等の回収を行い、特定非営利活動法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会へ寄付を行った。

(5) 情報労連・愛の基金

1) カンパ活動

大規模自然災害等の緊急時における災害復旧支援、ならびに市民団体との積極的な関係による社会貢献活動への支援等により「すべての人が暮らしやすい社会」と「自由・平等・公正で平和な世界」の実現に向け、産別労働組合としての社会的役割を果たしていくことを目的に以下のとおり「情報労連・愛の基金カンパ」に取り組んだ。

※詳細報告は支部代表者会議資料参照

実施期間：2025年9月18日（木）～12月31日（水）

対象者：組合員（ただし、KDDIグループで働く方ならどなたでも受付可）

周知方法：ネットThe Union、労組ホームページによる周知および支部執行委員・職場委員による職場での声掛け

情報労連のカンパ金額：5,911,039円

KDDI労組のカンパ金額：494,592円

《支部別カンパ金額》

支部	チェックオフ		口座振込 ※現金含む	auPAYコード払い		合計
	人数	金額		件数	金額	
本社中央支部	18人	19,000円	3,000円			22,000円
東日本支部	21人	37,600円	4,500円			42,100円
西日本支部	15人	30,800円	39,894円			70,694円
KDDIエンジニアリング支部	8人	10,000円	46,926円			56,926円
KDDIまとめてオフィス支部	18人	37,041円	115,456円			152,497円
中央本部	11人	46,000円	2,500円			48,500円
その他（支部不明分）	0人	0円	45,000円	105件	56,875円	101,875円
合計	91人	180,441円	257,276円	105件	56,875円	494,592円

2) 市民団体等への支援

2024年度「情報労連・愛の基金」の助成先公募に基づき、7団体への支援を行った。

【愛の基金助成先（情報連全体での実績）】

7団体、合計1,313,000円の助成が行われた。

No	助成対象団体	助成金額
1	NPO法人親子サポート・一本の樹	277,000円
2	NPO法人児童くらぶなんたらカンタラ ※	300,000円
3	伊丹小学校地区自治協議会特定非営利活動法人 ※	150,000円
4	フォトボランティア「ポレポレ」 ※	36,000円
5	川越リージョナルウインドオーケストラ	300,000円
6	NPO法人手賀沼トラスト	100,000円
7	一般社団法人 sien sien west（おらっちゃ七尾） ※	150,000円

※KDDI労働組合推薦団体

社会貢献活動 関連資料

KDDI 労働組合 主催
「環境学習ツアー」
しおり

2025年10月25日(土)～10月26日(日)

KDDI 労働組合

【全体スケジュール 10月25日（土）～10月26日（日）】

10月25日（土）	
11:30	郡山駅中央口（西口） 受付開始
12:00	郡山駅出発
13:00	ガイダンス（高篠山森林公園）
13:15	フィールドワーク（郡山市「森の案内人」による環境学習） ※雨天時：国立環境研究所による環境学習・木工教室
14:30	おやつタイム（山の農園に移動しておやつ）
15:00	ワーク：SDGs カードゲーム
16:30	休憩
17:00	交流会（アウトドア食事・星空観測）
19:30	山の農園出発
20:00	宿泊施設到着

10月26日（日）	
9:15	宿泊施設出発
10:00	朝礼（山の農園集合）
10:15	調理実習「郷土食づくり」（担当：あさか開成高校）
12:15	ランチタイム
13:00	座学・フィールドワーク（里山の再生活動） ①保全活動：ブルーベリーの保全 ②収穫体験：あずき収穫・干し柿づくり
14:30	休憩・おやつタイム
15:00	ワークショップ「気候変動から考える未来」 講師：アジア大気汚染研究センター 所長 大原眞利
16:30	振り返り
16:50	山の農園出発
17:30	郡山駅にて解散

※行程は天候などによって変更となる場合があります。予めご了承ください。

※集合場所までの移動時等、何かトラブルが発生した場合には以下担当者へご連絡ください。

【事務局】（当日連絡先）

KDDI 労働組合

中央本部

窪田 廉 携帯電話：080-6639-4403

小川原 亮 携帯電話：080-6790-5641

本社中央支部

劉 暢 携帯電話：070-3507-2893

KDDI まとめてオフィス支部

岡 栞里 携帯電話：070-7771-8218

【持ち物】

- ・着替え（1泊2日分）
- ・筆記用具
- ・保険証
- ・お薬（酔い止め薬など）
- ・帽子・ジャンパー・長ズボン・靴下
- ・靴（汚れてもよいもの）

※夜は10℃以下に冷え込みます。（最高気温16℃、最低気温5℃の予報）

※1日目の交流会はBBQを行います。匂いが付いても良い服装をご準備ください。

※1日目のフィールドワークは高篠山森林公園公園内を歩きますので、歩きやすい靴、服装をご準備ください。

※2日目のフィールドワークは、長靴を貸し出します。貸出できるのは大人サイズとなります。お子様は可能でしたら長靴を持参ください。

○雨天時（若しくは前日が雨だった場合）

- ・長靴や汚れても良い靴の準備を推奨します。

※雨天の場合、外での活動は行いませんが、山の農園付近は相当ぬかるみます。バスから山の農園へ移動するだけでも間違いなく汚れますので、そのつもりで各自ご準備をお願いします。

【参考写真】雨天時の山の農園



<集合場所／集合時間について>

- ・日 時：2025年10月25日（土）12時00分（受付開始 11時30分）
- ・場 所：JR郡山駅 **中央口**（西口）
近くに事務局がありますので、わからなければお電話ください。

集合後に昼食を食べる時間はありませんので、**各自で昼食を済ませてから集合**してください。

郡山駅から高篠山森林公園まではバスで30分程度の見込みです。必要に応じて事前に酔い止め薬の服用等、準備をお願いします。



環境学習ツアーについて

KDDI労働組合では、将来世代が受け継ぐ自然環境を守り回復させていくことが、安心して暮らし働ける社会の実現に重要と考え、「ネイチャーポジティブ」に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、気候変動や環境汚染の実態を知ること、知ったうえで組合員一人ひとり若しくは家族と一緒に行動につなげることが重要との考えから、本環境学習ツアーを開催しました。

学習ツアーは、東日本大震災・原発事故の影響を受けた障がい者を支援するため活動を行っている、「特定非営利活動法人しんせい」の協力をいただきました。学習においては、しんせいのスタッフを始め、しんせいと共に活動しているあさか開成高校の生徒や国立環境研究所の職員にも講師として参加いただきます。大人も子どもも、講師も一緒になって楽しく学習できるプログラムを準備しましたので、楽しく学びにつなげいただければ幸いです。

特定非営利活動法人しんせい
ホームページ



<https://shinsei28.org/>

特定非営利活動法人しんせい
山の学校



<https://shinsei28.org/school/>

活動場所および宿泊施設について

【活動場所】

・高篠山森林公園

〒963-0213 福島県郡山市逢瀬町多田野字高篠 1-6

・山の農園

〒963-0213 福島県郡山市逢瀬町多田野大將旗 2

※残念ながらauは圏外になります。ドコモはエリア内です。

【宿泊施設】

・シーラックパル郡山

〒963-8041 福島県郡山市富田町向館 11-1



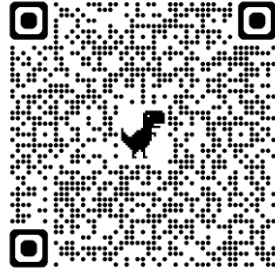
参加者名簿

No	参加人数	名前	備考
1	1	郡司 正紀	-
2	1	武田 仁宏	-
3	2	田中 敬子	-
4		古賀 龍世	-
5	2	大谷 大	-
6		大谷 美心	-
7	2	西島 由香	-
8		西島 結菜	-
9	1	大澤 伸枝	-
10	1	遠藤 真理	-
11	1	児玉 わかな	-
12	3	中川 恵勝	-
13		中川 友喜	-
14		中川 利果	-
15	2	穴見 繁幸	-
16		穴見 圭	-
17	1	内橋 佐知子	-
18	1	窪田 廉	事務局
19	1	小川原 亮	事務局
20	1	劉 暢	事務局
21	1	岡 栞里	事務局

写真の共有について

行動中に撮影した写真は以下のGoogleフォトで共有します。みなさんが撮影した写真もぜひ保存してください。

※写真は労働組合の活動報告等に使用する場合があります。予めご了承ください。

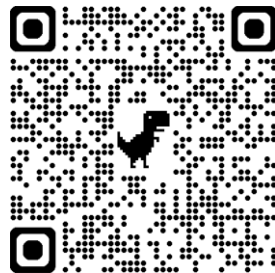


[Googleフォトへのリンク](#)

活動報告について

ツアー参加後速やかに、以下のGoogleフォームから活動報告を必ず実施してください。

期限：2025年11月4日（月）



[Googleフォームへのリンク](#)

メモ

6. 産別運動・国際連帯活動

(1) 連合・情報労連

項番	開催日	集会・セミナー等
1	2025年9月19日	連合「未来づくり春闘」評価委員会シンポジウム
2	2025年10月2日	2025 連合全国セイフティネットワーク集会
3	2025年10月4日	情報労連「明日知恵塾」
4	2025年10月7日、8日	連合 第19回定期全国大会
5	2025年10月16日、他全10回	全労生「ユニオン・カレッジ」
6	2025年10月20日	部落解放中央共闘会議 第50回総会
7	2025年10月24日	2025 連合ジェンダー平等推進中央集会
8	2025年10月31日	連合 2026 春季生活闘争中央討論集会
9	2025年10月31日	狭山事件の再審を求める市民集会
10	2025年11月11日	第22回 ICTS フォーラム
11	2025年11月16日～19日、12月11日～12日、2026年2月27日～28日、4月20日～21日、5月17日～20日 全14日間	Rengo アカデミー第25回マスターコース
12	2025年11月21日、2026年4月28日、5月26日、全3回	ICTJ Women's Network
13	2025年11月25日	ICTJ オンラインセミナー「身近で出来る社会貢献活動!」
14	2025年12月1日	情報労連 ジェンダー平等・トップリーダー学習会
15	2025年12月1日	情報労連 オンラインセミナー「災害と法制度」
16	2025年12月1日	連合 北方領土返還要求アピール行動
17	2025年12月4日	連合 2026 春季生活闘争 格差是正フォーラム
18	2025年12月9日	世界人権宣言 77周年記念東京集会
19	2025年12月9日	ICTJ オンラインセミナー「心と体と脳を元気にする!～はじめてのまーじゃん～」
20	2025年12月11日	情報労連 パートナーシップセミナー
21	2025年12月12日	情報労連「第219臨時国会 組織内議員国政報告会」
22	2025年12月14日、15日	ICTJ ライジングセッション
23	2025年12月17日	2025 連合税制シンポジウム
24	2026年1月22日、4月22日	ICTJ ユースコミッティ
25	2026年2月25日	連合 政策学習会「消費者をとりまく法制度」
26	2026年2月28日	連合「2026 春季生活闘争全国一斉アクション 2.28 中央集会」
27	2026年3月2日	情報労連「2026 春闘 3.2 総決起集会」
28	2026年3月6日	連合「2026 春季生活闘争 3.8 国際女性デー-中央集会」
29	2026年3月25日	連合 政策学習会「消費者契約法改正に向けて」

項番	開催日	集会・セミナー等
30	2026年3月26日	ICTJ オンラインセミナー「選ばれる組合へのアップデート!未加入者の心を動かす実践の第一歩」
31	2026年3月31日	連合「2026年度重点政策討論集会」
32	2026年4月16日	情報労連 特別講話「熊本地震から10年」
33	2026年4月17日	2026 連合・防災セミナー
34	2026年4月20日	連合 政策学習会「災害法制の全体像からみた課題」
35	2026年4月20日	ICTJ オンラインセミナー「あなたの防災対策は本当に正しい!?大切な人を守るリアル防災術」
36	2026年5月12日	明日知恵塾 成蹊大学・原ゼミ
37	2026年5月18日	ICTJ オンラインセミナー「今すぐ誰でも簡単に出来る4大AI ツールを徹底分解」
38	2026年5月22日	狭山事件の再審を求める市民集会
39	2026年5月27日	明日知恵塾 立正大学・戎野ゼミ
40	2026年5月28日	連合「第97回中央委員」

(2) 国際連帯活動

1) 第7回 UNI Apro ICTS部会大会 ※報告詳細は支部代表会議資料参照

期 間 : 2025年10月13日、14日

開催形態: マニラ (フィリピン)

参加者 : 浦中央執行委員長、安藤副事務局長

内 容 : 大会では、「UNI Apro ICTS部会戦略的行動計画(2025~2029年)」を採択するとともに、「多国籍企業および地域企業における労働組合の組織化と強化」や「デジタル時代におけるディーセントワーク」、「ジェンダー平等」等に焦点を当てたセッションが開催され、各国代表による活発な討議のもと、各種動議が満場一致で採択された。また、役員選挙が実施され、「UNI Apro ICTS部会委員会」「同部会議長・副議長」「UNI世界ICTS部会委員」などの役職が選出され、安藤前議長(前情報労連中央執行委員長)に代わり、北野新議長(情報労連中央執行委員長)が選出された。

2) UNI Apro東アジア労組フォーラム

期 間 : 2025年10月23日、24日

開催形態: 濟州島 (韓国)

参加者 : 浅野中央執行委員

内 容 : 日本、韓国、台湾、モンゴル、香港各国・地域の労働組合代表129名が一堂に会し、「保護主義と新たなグローバル秩序 - 東アジアにおける組合の対応」をテーマにフォーラムが開催された。本フォーラムは、東アジア各国の労働組合で各国の現状や課題、労働組合の取り組みを共有し、連帯を強める目的で開催されており、保護主義、AIの進展、少子高齢化、ジェンダー平等、若者のエンパワメントなど、労働者を取り巻く多様な課題について意見を交わした。

3) UNI Apro/ICTJ 青年ワークショップ

期 間 : 2025年12月2日~7日

開催形態: クアラルンプール (マレーシア)

参加者 : 窪田中央執行委員、神谷中央執行委員、藤原中央執行委員、野口中央執行委員

内 容 : 12月3日~5日、マレーシア・クアラルンプールでUNI Apro/ICTJ 青年ワークショップが開催され、9カ国・30名が参加した。日本からは情報労連13名 (NTT労組6名、通建連合2名、KDDI労組4名、中央本部1名) が参加し、青年活動に関する講義やグループワークなどを中心とした3日間のプログラムに参加した。

産別運動・国際連帯活動 関連資料

2025年12月18日
 K D D I 労働組合
 中 央 本 部

UNI Apro ICTS部会大会報告


1. 概要

日 程	2025年10月13日（月）～14日（火）
会 場	フィリピン・マニラ
全体参加数	世界13カ国（22組織）よりゲスト、スタッフを含め約100名 （代議員・オブザーバー参加：77名、うち女性約26%）
情報労連の参加者	情報労連：北野中央執行委員長、安藤顧問、 齋藤中央執行委員、佐々木職員 NTT労組：十川中央執行委員長、太田中央執行委員 通建連合：高代議長 KDDI労組：浦中央執行委員長、安藤副事務局長 ソフトバンク労組：梅地執行委員（計10名）
概要	<p>大会では、「UNI Apro ICTS部会戦略的行動計画（2025～2029年）」を採択するとともに、「多国籍企業および地域企業における労働組合の組織化と強化」や「デジタル時代におけるディーセントワーク」、「ジェンダー平等」等に焦点を当てたセッションが開催され、各国代表による活発な討議のもと、各種動議が満場一致で採択された。</p> <p>また、役員選挙が実施され、「UNI Apro ICTS部会委員会」「同部会議長・副議長」「UNI世界ICTS部会委員」などの役職が選出され、安藤前議長（前情報労連中央執行委員長）に代わり、北野新議長（情報労連中央執行委員長）が選出された。</p>

2. 内容

	内 容
10月13日(月) 1日目	
開会挨拶・議題採択	<p>開会式では、ロランド・デラクルスUNIフィリピン加盟協議長による歓迎挨拶に続き、フィリピン労働雇用省のマリア・コンスエロ・バカイ労働仲裁官が登場し、「デジタル変革の時代こそ、社会対話を通じて労働者の尊厳を守り、公正で包摂的な働き方を実現することが重要であり、労働者代表の政策参画は不可欠である」と述べた。</p> <p>続いて、安藤議長(当時)が挨拶に立ち、「アジア太平洋のICTS産業は急速に拡大する一方、不安定雇用や過重労働、AIによる仕事の変化など新たな課題が生じている。こうした変化の中で、国・地域によって置かれた状況は違えど、共通する課題は『人間を中心に据えたICTS産業の未来をどうつくるか』である」と述べた上で、「参加者一人ひとりの経験と知見を持ち寄り、連帯と協力を通じてその解決に向けた道を切り拓いていこう」と呼びかけた。</p> <p>その後、ベンジャミン・パートンUNI ICTS局長、ラジェンドラ・アチャリヤUNI Apro地域書記長が連帯挨拶を行った。</p>
活動報告 (2021-2025)	<p>木村UNI Apro ICTS部長より「2021~2025年UNI Apro ICTS部会活動報告」が行われた。報告では、①ICTS産業のグローバル企業・地域企業における組織化・組織強化、②ビジネスサービス部門における労働基準の引き上げと労働安全衛生の強化、③テック企業およびゲーム開発企業の組織化、④ICTS労働者のための政治的影響力と経済力の向上、⑤デジタル時代のディーセントワーク——等の4年間の活動が総括され、加速するデジタル変革と激化する国際競争の中で、ICTS労働者の権利と尊厳を守る国際的な運動をさらに前進させていく必要性が示された。</p>
セッション 1	<p>●多国籍企業および地域企業における労働組合の組織化と強化</p> <p>セッション1では、「多国籍企業および地域企業における労働組合の組織化と強化」をテーマに、テレノール、アクシアタ、エリクソンなどアジア太平洋地域で事業を展開する多国籍企業の事例をもとに議論が行われ、国境を越えた連携強化に加え、労働者の法的権利保護やスキル向上を支える、レジリエントで専門性の高い労働組合の構築が重要であることが共有された。</p> <div data-bbox="384 1402 754 1724" data-label="Image"> </div> <p>討議では、情報労連・十川代議員(NTT労組中央執行委員長)が発言に立ち、NTTデータグループの海外展開に伴う課題として、国・地域ごとに異なる労働慣行の中での実態把握の重要性を述べ、「UNIの仲間と連携し、現地組合との協働を通じて持続可能な職場環境の実現をめざしたい」と訴えた。</p> <p>発言する十川代議員(NTT労組)</p>
10月14日(火) 2日目	
基調講演	<p>ILOフィリピン事務所のアナ・リザ・U・バレンシア氏(RISSC国家プロジェクトコーディネータ)が「労働組合が人権デューディリジェンスと責任ある企業行動の促進において果たす役割」と題して基調講演を行い、人権デューディリジェンス(HRDD)および責任ある企業行動(RBC)の推進において、現場の声</p>

	内 容
	<p>を社会対話へとつなぐ労働組合の役割が極めて重要であると強調した。</p> <p>質疑では、情報労連・高代代議員（通建連合議長）が、通信建設工事における交通誘導員の労働安全衛生課題やハラスメントの実態を共有した上で、サプライチェーン下流の未組織労働者をどう組織化していくか、その効果的な方策を尋ねた。バレンシア氏は、「サプライチェーン全体の中で、どの層が社会的保護から取り残されているのかを特定することが重要。改善可能な部分から段階的に取り組むことが有効であり、ILOとしても今後、優良事例を収集・共有していきたい」と述べた。</p>  <p style="text-align: right;">取り組み報告をする高代代議員（通建連合）</p>
セッション 2	<p>●テーマ「ビジネスサービスにおける基準の向上と労働安全衛生の強化」</p> <p>セッション2では、9月30日に発生したフィリピン・セブ島地震において、ビジネスサービス部門の労働者が地震発生中にもかかわらず電話対応を強いられた事例が象徴的に紹介され、災害時においても安全より業務継続を優先せざるを得ない同部門の厳しい労働実態をはじめ、労働安全衛生体制の不備や企業・政府による保護強化の必要性について活発な議論が交わされた。その後、UNIフィリピン加盟協議会から、ビジネスサービス部門の組織化と労働基準の引き上げに向けた取り組みを強化する動議が提出され、全会一致で採択された。</p>
セッション 3	<p>●テーマ「テック・ゲーム開発企業やサプライチェーンにおける組織化とジェンダー平等の推進」</p> <p>ギグワーカー保護のための法整備過程に労働組合が積極的に関与したマレーシアの事例やテック産業におけるジェンダー平等課題が共有されるとともに、テクノロジーをすべての人のためのものにするためには、女性を含む多様な人々が意思決定過程に参画することが不可欠であり、強い労働組合の構築と国際的な連帯を通じてジェンダー平等を実現していくことが重要であるとの認識が共有された。</p> <p>討議では、情報労連・浦代議員（KDDI労組中央執行委員長）がフロア発言に立ち、男性育休取得の促進やLGBTQの声を反映する仕組みづくりなど、多様性を力に変える職場づくりの取り組みを報告した。</p>  <p style="text-align: right;">取り組み報告をする浦代議員</p>
セッション 4	<p>●テーマ「デジタル時代におけるディーセントワーク」</p> <p>セッション4では、「デジタル時代におけるディーセントワーク」をテーマに、デジタル化の加速の中で、生成AIなど新技術の普及やリモートワークの拡大に伴う労働課題が各国代表者から共有され、労働組合による変化に応じた労働環境改善やアップスキリングへの支援、社会的対話・政策活動の強化の必要性について活発な討議が行われた。日本からは、情報労連・北野代議員（情報労連中央執行委員長）がパネリストとして登壇し、日本の労働環境の変化と組合の対応状況を報告。</p>

内 容	
	<p>テレワーク拡大に伴う「つながらない権利（勤務時間外の連絡ルール）」の確立や勤務間インターバル制度の普及促進、AI導入における労使協議の重要性を強調するとともに、個別労使の枠を超えて法制度の整備へと結びつけていくことの重要性を訴えた。</p>  <p style="text-align: center;">発言する北野代議員（情報労連）</p>
UNI Apro ICTS 戦略的行動計画 2025-2029	<p>討議を踏まえ、「UNI Apro ICTS部会 戦略的行動計画（2025～2029年）」が提起・採択され、国際的な連帯のもとでICTS労働者の組織化のさらなる拡大とディーセントワークの実現に向けた取り組みを強化する方針が確認された。</p>
役員選挙閉会	<p>役員選挙では、情報労連・北野中央執行委員長が新議長に選出された。就任にあたり北野議長は、「国や世代を超え、UNIを通じた情報交換と連帯の価値が一層高まる今こそ、アジア太平洋の仲間と力を結集し、すべてのICTS労働者が誇りを持って働ける未来を築いていきたい」と決意を述べ、大きな拍手で迎えられた。本大会で築き上げたネットワークを礎に、大会参加者が連帯して運動を前進させていくことを全体で誓い合い、2日間の全議事を終えて部会大会は閉会した。</p>



大会開催中の模様



UNI フィリピン加盟協 パヤタス担当と



UNI Apro東アジア労組フォーラム 出席報告

1. 開催概要

- 日程：2025年10月23日（木）～24日（金）
- 会場：韓国・済州島（Wave Hotel & Resort）

2025年10月23日から24日にかけて、韓国・済州島において「第11回 UNI Apro東アジア労組フォーラム」が開催された。情報労連からは、6名が参加したほか、韓国、台湾、モンゴル、香港のUNI加盟組織から代表者が集い、各国・地域の労働情勢や課題について活発な意見交換が行われた。

2. 情報労連の参加体制

- 情報労連 北野 真一（中央執行委員長）
佐々木 恵梨（国際担当職員）
- KDDI労組 浅野 祥（中央執行委員）
- NTT労組 水野 和人（事務局長）
鈴木 亜優美（情報宣伝部職員）
- 通建連合 増本 高大（事務局長）



情報労連からの参加者

3. 基調講演 「保護主義と世界秩序の変動、その展望と対応」

大邱大学経済学部のカム・ヤンヘ准教授による基調講演が行われた。

講演では、トランプ政権に見られるような高関税政策をはじめとする保護主義的な動きが世界経済に大きな影響を及ぼしている現状について説明があった。また、このような政策は米国のみならず世界全体において、人権や環境といった進歩的な課題の優先順位を低下させる可能性があるとの懸念が示された。

これに対し、各国の労働組合や非営利団体は労働者の声に耳を傾け、民主主義を守るために国際的な連帯のもとで発信を続けていく必要があると提起された。

4. 東アジア地域における労働組合の課題と連帯

UNI Apr oのラジェンドラ・アチャリヤ地域書記長より、「東アジア地域における労働組合への期待」をテーマとした問題提起が行われた。

アチャリヤ地域書記長は、東アジア地域が世界有数の経済規模を有する一方で、その成果が労働者へ十分に還元されていない実態を指摘した。そのうえで、「経済成長は企業の利益のためだけではなく、すべての人のためにあるべきである。すべての人の尊厳と権利を守るため、労働組合が企業やICTなどの分野を超えて団結し、公正で民主的な未来を築いていこう」と呼びかけた。また、各セッションでは以下のテーマを中心に、各国・地域の取り組みや課題について活発な意見交換が行われた。

主な討議テーマ

- 人口構造の危機
 - 少子化への対応
 - 雇用年齢・定年年齢の延長
 - 年金制度改革および年金基金の運営・管理
- ジェンダー平等と若者のエンパワーメント
- 各国の労働情勢
 - 労働環境の改善に向けた取り組み
 - 労使紛争・闘争事例
 - プラットフォーム労働者等の組織化

5. 情報労連からの報告と総括

情報労連（KDDI労組）からは、浅野中央執行委員が登壇し、情報労連におけるジェンダー平等の取り組みについて報告した。

報告では、組織のダイバーシティ実現に向けた基盤として「心理的安全性」の向上が重要であることを提起した。意見を否定されることなく、個々の違いが尊重される職場環境を整備することが、多様な価値観が共存する現代社会において不可欠であると説明した。

フォーラムの最後には、急速な環境変化やデジタル化による働き方・生活の変化に対応し、労働者の権利と生活を守るため、各国・地域の労働組合が連帯して取り組んでいくことを確認する共同宣言が採択された。その後、フォーラムは閉会した。



情報労連の取り組み報告を行う
浅野中央執行委員

6. 所感

今回のフォーラムを通じて、東アジア各国・地域は政治・経済・労働環境こそ異なるものの、少子高齢化、デジタル化の進展、雇用の多様化、ジェンダー平等の推進など、多くの共通課題に直面していることを改めて認識した。特に、経済成長が続く国・地域においても、その成果が十分に労働者へ還元されているとは言えず、労働組合による継続的な取り組みの重要性が各国共通の課題として共有されていた。

また、若年層の組織化や女性参画拡大に関する各国の取り組みは、日本の労働組合運動にとっても示唆に富む内容であった。組合員の価値観や働き方が多様化する中、従来の活動手法だけでなく、多様な意見を受け止めながら組織運営を行う視点がこれまで以上に求められている。属性や立場の違いを超えて意見を交わせる環境づくりは、組織の活性化や新たな課題解決につながる重要な要素であり、ダイバーシティ推進の基盤として位置付ける必要がある。

さらに、デジタル化やAIの普及により働き方が大きく変化する中、労働組合には従来の労働条件改善に加え、雇用やスキル形成、働く人の権利保護といった新たな課題への対応が求められていることが各国の議論からも明らかとなった。こうした課題は一国だけで解決できるものではなく、国際的な情報共有と連帯の重要性を再確認する機会となった。

さらに、急速なデジタル化やAIの普及によって働き方そのものが大きく変化する中、労働組合には従来の労働条件改善に加え、誰一人取り残さない公正な移行（Just Transition）を支える役割が求められていると感じた。今回のフォーラムで確認された国際的な連帯の重要性を踏まえ、今後も各国・地域の取り組みから学びながら、KDDI労組および情報労連の活動に活かしていきたい。



日本からの参加者



フォーラムの様子

以上

2025年 青年ワークショップ 参加報告書

UNI Apro/ICTJ「共に立ち上がろう (Rising Together)」

2025年12月3日(水)～5日(金) / マレーシア・クアラルンプール

1. 概要

名称	UNI Apro/ICTJ「共に立ち上がろう (Rising Together)」青年ワークショップ
日程	2025年12月3日(水)～12月5日(金) 全3日間
会場	パークロイヤルホテル (マレーシア・クアラルンプール)
主催	UNI Apro/ICTJ (情報労連)
参加国	日本・タイ・マレーシア・フィリピン・インドネシア・ネパール・スリランカ・インドほかアジア太平洋各国

DAY1 12月3日(水)

テーマ：開会・各国青年活動の共有

午前は開会式から始まった。司会のプジャ・カパヒUNI Apro青年担当部長の進行のもと、シャフィーUNI-MLC議長、ラジェンドラUNI Apro地域書記長による講演「UNI Apro on Rising Together」が行われ、地域全体で青年層が連帯して立ち上がることの意義が示された。

午後は、マルタ・オチョアUNI本部青年担当部長とプジャ・カパヒ氏による講義「UNI およびUNI AproとUNI Aproユースについて」で、組織の全体像と青年部門の位置づけを学んだ。続く「青年を労働組合へ」のセッションでは、日本・タイ・マレーシア・フィリピン・インドネシア・ネパール・スリランカ・インドの各国青年より、自国における青年活動の現状と課題を発表し、初日を終えた。



DAY2 12月4日(木)

テーマ：フィールドワーク

午前は、「障壁を橋に変える：困難な国々でのメディア労働者の組織化」と題した報告が行われ、組織化が難しい環境において、現場の労働者となつながら、信頼を築くための具体的な実践が共有された。

その後、本ワークショップの中心となるフィールドワークに向けて、チームごとに目的地や役割分担を確認し、各チームが現地へ出発した。現地では、ヒアリングや観察を通じて課題に取り組み、昼食も含めてチーム単位で行動することで、メンバー間の連携を深めた。

夕刻には全チームがホテルの会議室に戻り、翌朝の発表に向けて準備を行った。実地で得た学びを発表内容にまとめる過程を通じて、チーム内の協働がさらに深まる一日となった。



DAY3 12月5日(金)

テーマ：成果発表とまとめ・修了

最終日は、前日のフィールドワークの成果をまとめたグループプレゼンテーションが中心となった。各グループが順に発表を行い、現地で得た気づきや組織化に向けたヒントを共有し合った。発表を通じて、各国に共通する課題と、それぞれの地域ならではの工夫が浮き彫りになった。

午後は、ジョシュUNI Apro青年委員会議長より「UNI Apro 青年の取り組み」が紹介され、地域全体での今後の青年活動の方向性が示された。

ワークショップの講評後の交流の中では、各国の青年同士が国を越えたつながり確かめ合い、全日程を終えた。



所感

今回の青年ワークショップへの参加を通じて、各国の青年組合員との交流やフィールドワークから、労働組合を取り巻く課題や社会情勢について多くの学びを得ることができた。特に、青年層の労働組合への参加意識の低下や、組織化・参画促進の難しさは、日本だけの課題ではなく、各国に共通する重要なテーマであることを実感した。

また、各国の発表や意見交換に加え、マレーシアでは多くの外国人労働者が産業を支えている現状を知ることができ、労働組合としてどのように関わり、支援していくべきかを考える貴重な機会となった。マレーシアにおいて外国人労働者が重要な労働力として位置付けられている実態を踏まえると、人手不足が進む日本においても、今後さらに多様な人材が職場を支える存在になることが想定される。そのため、国籍や働き方にかかわらず、誰もが安心して働き、能力を発揮できる環境づくりがますます重要な課題になると感じた。

さらに、マレーシアでの滞在を通じて、経済成長の一方で貧富の差や生活環境の格差が存在している現実を目の当たりにしたことも強く印象に残っている。街中で子どもがお金を求める

姿や、乳幼児を連れた母親が路上で生活する様子は、日本ではあまり目にする事のない光景であり、大きな衝撃を受けた。こうした経験から、社会的に弱い立場に置かれた人々を支える仕組みの重要性を改めて認識するとともに、労働組合が果たすべき役割についても深く考えさせられた。

フィールドワークでは、ギグワーカーを取り巻く課題についても学ぶことができた。ギグワーカーは独立した事業者として扱われることが多く、従来の労働組合への加入や労働者保護の枠組みから取り残されやすい現状がある。一方で、ギグワーカー保護に向けた法整備も進められており、今後は制度の周知や適切な運用を通じて、実効性を高めていくことが重要であると感じた。

今回のワークショップで得た学びは、各国の課題を知るだけでなく、日本の労働組合活動を見つめ直す機会にもなった。また、本ワークショップを通じて各国の労働組合役員と交流し、それぞれの国が抱える課題や取り組みについて直接意見交換できたことは、大変貴重な経験であった。今回得た知見や気づきを今後の組合活動に活かし、青年層の参画促進や組織強化に向けた取り組みにつなげていきたい。

以上

UNI Apro/ICTJ 共に立ち上がろう 青年ワークショップ

2025年12月3～5日、マレーシア・クアラルンプール
パークロイヤルホテル、マレーシア

プログラム (案)

参加者 到着・ホテルチェックイン
リソースパーソン (事務局) 午後4時からブリーフィング

2025年12月3日 (水) Day1

- 08.30 集合 以下を準備
- 1) ネームタグ
 - 2) 卓上名札
- 9.00 **開会式** - プジヤ・カパヒ(司会), UNI Apro 青年担当部長
- UNI-MLC 議長 モハメド・シャフィー-BP ママル
 - 情報労連書記長 春川徹
- 講演「UNI Apro on Rising Together」**
UNI Apro 地域書記長 ラジェンドラ・アチャリヤ
- 10.00 集合写真の撮影 / 休憩
- 10.30 **労働組合と青年 共に立ち上がろう**
- UNI-MLC 議長 モハメド・シャフィー-BP ママル
 - 情報労連書記長 春川徹
 - UNI Apro 青年委員会議長 ジョシュ・グラホ
 - UNI 本部青年担当部長 マルタ・オチョア
- 11.30 グループワーク- 自己紹介
- 12.00 **ワークショッププログラムについて**
- a) リソースパーソンの紹介

- b) 進め方について
- c) 参加者へ期待すること
- d) ワークショップ中のルール
- e) 課題-1 日目

- 12.30 昼食
- 13.30 講義「UNI および UNI Apro と UNI Apro ユースについて」
マルタ・オチョア UNI 本部青年担当部長&プジャ・カパヒ UNI Apro 青年担当部長
- 14.30 青年を労働組合へ
- モデレーター：ジェーン, 各国7分間のプレゼン
- ユース@ICTJ, 日本
 - ユース@UNI TLC, タイ
- モデレーター：ジョシュ
- Youth@UNI MLC, マレーシア
 - Youth@UNI PLC, フィリピン
- モデレーター：アイシャ・アリ, UNI パキスタン加盟協議会
- Youth@ASPESK, インドネシア
 - Youth@UNI NLC, ネパール
- モデレーター：入江優妃, 情報労連
- Youth@UNI SLAC, スリランカ
 - Youth@UNI ILC, インド
- 春川書記長によるコメント・講評
- 15:30 休憩
- 16:00 講演「青年とテック部門」 UNI Apro ICTS 部会担当部長
- グループワーク

17.00 1日目プログラム終了

19.00 夕食（ホテル内）

2025年12月4日（木）Day2

8.30 参加者セミナールーム集合

9.00 障壁を橋に変える：困難な国々でのメディア労働者の組織化 — ジャン（タイ）

10.00 ティーブレイク

10.30 グループワーク・準備

UNI Apro ユース、動き出す！

- ✓ チームごとに目的地へ出発
- ✓ インタビューと課題遂行
- ✓ チームで昼食を取ること

12.00 Lunch

18.30 すべてのグループは、遅くとも午後7時までにホテルの会議室に戻る（必須）。その後、翌朝のチーム発表に向けて、それぞれのグループで協力して準備を行ってください。

2日目終了

19:00 夕食（ホテル内）

2025年12月5日（金）Day3

8.30 UNI Apro ユース、動き出す！

各グループは、自分たちのプレゼンテーションを確認・見直しする
その後、ミニ・チームビルディング・エクササイズ

- 09.00 グループ・プレゼンテーション
- 10.30 ティーブレイク
- 11.00 プレゼンテーション続き - UNI Apro ユース、動き出す！
- 12.30 昼食
- 13.30 UNI Apro 青年の取り組み
ジョシュ・グラホ UNI Apro 青年委員会議長によるプレゼンテーション
- 15.00 ティーブレイク
- 15.30 ワークショップ講評 プジャ・カパヒ & 佐々木恵梨
今後の展望と修了証授与
- 17.00 閉会
- 19.00 夕食／交流の夕べ

2025年12月6日(土)

参加者チェックアウト